

令和7年度使用中学校用教科用図書

# 選定委員会審議結果報告書

令和6年8月

尾道市教科用図書選定委員会

# 国語

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい国語 1・2・3
15	三省堂	現代の国語 1・2・3
17	教出	伝え合う言葉 中学国語 1・2・3
38	光村	国語 1・2・3

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### 【学年の目標】

#### 第1学年

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

#### 第2学年

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

- (3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 第3学年

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（国語）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	新出漢字の示し方、重要語句の示し方、言語・漢字・文法の扱いについて他社と比較しての特徴
		② 情報の扱い方に関する事項	情報と情報の関係、情報の取り出し・整理等、情報の扱い方を学ぶ工夫を他社と比較しての特徴 （例）比較や分類、引用の仕方や辞典の使い方等
		③ 我が国の言語文化に関する事項	伝統的な言語文化に関する単元の教材編成やその提示の仕方、及び言語文化を学ぶ楽しさを感じられるような工夫を他社と比較しての特徴 （例）教材の出典と示し方、読書に関わる内容及び紹介書籍等
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 自分の考えを形成する活動の工夫	互いの意見を発表して話し合い、思考を深める単元における内容の扱い方を他社と比較しての特徴
		⑤ 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連	図表を文章記述と関連付けて内容理解に活用するための工夫を他社と比較しての特徴 （例）図表の活用に着眼させる問いやヒントの提示。適切な内容・種類の図表掲載。
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫	問題解決的な学習において主体的に活動に取り組ませる工夫を他社と比較しての特徴 （例）自身との関連性や興味を感じられるテーマ設定、やってみたくなる面白そうな学習活動
		⑦ 見通しを立てて学習するための構成上の工夫	見通しを立てて学習に取り組ませるための工夫を他社と比較しての特徴 （例）目標や学習の進め方の提示、見通しを立てさせる手引き等の提示
		⑧ 学習を振り返るための工夫	学習の成果と課題を明確にしたり知識・技能を定着させたりするための振り返り活動の工夫を他社と比較しての特徴 （例）学習活動の評価の観点や方法の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑨ 単元の構成	単元の教材選定、教材の組み合わせ方や配列を他社と比較しての特徴
		⑩ 単元・教材等の配列	単元の配列の考え方とその示し方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）全体の単元の構成・配列。各領域の配分等
(オ)	内容の表現・表記	⑪ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴
		⑫ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴

# 書写

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい書写一・二・三年
15	三省堂	現代の書写一・二・三
17	教出	中学書写
38	光村	中学書写一・二・三年

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### 【各学年の内容〔知識及び技能〕のうち、書写に関する項目】

#### 第1学年

- (ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。
- (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

#### 第2学年

- (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。
- (イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。

#### 第3学年

- (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（書写）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や点画の書き方、用具の扱い方について理解を助ける工夫を他社と比較しての特徴 （例）写真やイラスト等
		②	文字の書き方の示し方	筆使い、紙面構成等の示し方を他社と比較しての特徴
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫	社会生活における目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定を他社と比較しての特徴 （例）場面の設定例等
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫	教科の学習や生活の様々な場面につながる教材の工夫や分量を他社と比較しての特徴
		⑤	学習の見通しを立てるための構成上の工夫	学習過程の示し方や構成を他社と比較しての特徴 （例）目標や学習の進め方の提示、見通しを立てさせる手引き等の提示
		⑥	自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫	自らの課題を発見し技能を向上するための学習目標及び振り返りの設定やその示し方を他社と比較しての特徴
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元・教材等の配列・分量	題材の配列の特色とその示し方の工夫、毛筆・硬筆の分量を他社と比較しての特徴 芸術祭との関わりにおいて、有効な点があるか
		⑧	伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化としての文字の理解に関する内容や分量を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑨	デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴

## 社会（地理的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい社会 地理
1 7	教出	中学社会 地理 地域にまなぶ
4 6	帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116	日文	中学社会 地理的分野

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 【地理的分野の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・

多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（地理）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	学習課題の示し方	学習課題の具体性・分かりやすさを他社と比較しての特徴 （例）学習内容ごとの学習課題の記載の仕方及び具体例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容を他社と比較しての特徴 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方を他社と比較しての特徴
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	「世界の諸地域」の地域区分と主題（地球的課題）の記載、知識及び技能を身に付けさせる工夫を他社と比較しての特徴
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④	見方・考え方を働かせるための工夫	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための工夫を他社と比較しての特徴
		⑤	学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける、多面的・多角的に考察させるための具体例を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	単元の導入における工夫	各単元の導入における、学習の見通しをもたせる手立てを他社と比較しての特徴 （例）具体例
		⑦	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	学び方のポイントや学び方の具体例の示し方等、主体的に探究的な学習活動を行うための工夫を他社と比較しての特徴 （例）「地域のあり方」における、目標設定や問いの立て方についての示し方、調査の方法や手順などの学習活動の示し方、振り返りの観点や方法の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列・分量	単元の構成、補充的・発展的教材、地域事例の扱いの特色を他社と比較しての特徴 （例）巻頭ページの示し方や単元の構成や分量
		⑨	防災教育の充実	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑩	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類や内容、イラスト・写真・デジタルコンテンツ等の活用の有効性等を他社と比較しての特徴 （例）同一単元の資料の種類や分かりやすさ
		⑪	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	掲載情報の精選と分かりやすい配置、適切な図表の掲載、ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォントを他社と比較しての特徴

## 社会（歴史的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい社会 歴史
17	教出	中学社会 歴史 未来をひらく
46	帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
81	山川	中学歴史 日本と世界 改訂版
116	日文	中学社会 歴史的分野
225	自由社	新しい歴史教科書
227	育鵬社	新しい日本の歴史
229	学び舎	ともに学ぶ人間の歴史
236	令書	国史教科書 第7版

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 【歴史的分野の目標】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（歴史）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	学習課題の具体性・分かりやすさを他社と比較しての特徴 （例）学習内容ごとの学習課題の記載の仕方及び具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	文化遺産、神話・伝承等について、記述内容や具体例の取り上げ方を他社と比較しての特徴
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	歴史に見られる国際関係や日本に影響を与えた文化交流等について、記述内容や具体例の取り上げ方を他社と比較しての特徴
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	歴史で学ぶ見方・考え方を働かせるための工夫を他社と比較しての特徴
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける、多面的・多角的に考察させるための具体例を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における、学習の見通しをもたせる手立てを他社と比較しての特徴 （例）学習活動の具体例の提示
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	学び方のポイントや学び方の具体例の示し方等、主体的に探究的な学習活動を行うための工夫を他社と比較しての特徴 （例）「身近な地域の歴史」における、目標設定や問いの立て方についての示し方、調査の方法や手順などの学習活動の示し方、振り返りの観点や方法の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	単元の構成、補足的・発展的教材、地域事例の扱いの特色を他社と比較しての特徴 （例）巻頭ページの示し方や単元の構成や分量
		⑨ 主権者育成のための工夫	古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりの内容を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類や内容、イラスト・写真・デジタルコンテンツ等の活用の有効性等を他社と比較しての特徴 （例）同一単元の資料の種類や分かりやすさ
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	掲載情報の精選と分かりやすい配置、適切な図表の掲載、ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォントを他社と比較しての特徴

## 社会（公民的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい社会 公民
1 7	教出	中学社会 公民 ともに生きる
4 6	帝国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 1 6	日文	中学社会 公民的分野
2 2 5	自由社	新しい公民教科書
2 2 7	育鵬社	新しいみんなの公民

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 【公民的分野の目標】

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中

心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（公民）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	学習課題の具体性・分かりやすさを他社と比較しての特徴 （例）学習内容ごとの学習課題の記載の仕方及び具体例
		② 公民としての基礎的教養を培うための工夫	公民で学ぶ現代社会の見方・考え方を理解させるための具体例の取り上げ方を他社と比較しての特徴
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	国際社会や国家について学ぶ内容の特色を他社と比較しての特徴 （例）国旗・国歌の扱い方 領土をめぐる問題についての扱い方
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	「よりよい社会を目指して」における公民で学ぶ見方・考え方を働かせるための工夫を他社と比較しての特徴
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける、多面的・多角的に考察させるための具体例を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における、学習の見通しをもたせる手立てを他社と比較しての特徴 （例）学習活動の具体例の提示
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	学び方のポイントや学び方の具体例の示し方等、主体的に探究的な学習活動を行うための工夫を他社と比較しての特徴 （例）「よりよい社会を目指して」における、目標設定や問いの立て方についての示し方、調査の方法や手順などの学習活動の示し方、振り返りの観点や方法の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	単元の構成、補足的・発展的教材、地域事例の扱いの特色を他社と比較しての特徴 （例）巻頭ページの示し方や単元の構成や分量
		⑨ 社会参画への意識を高める工夫	「民主政治と政治参加」における、社会参画を促す内容を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類や内容、イラスト・写真・デジタルコンテンツ等の活用の有効性等を他社と比較しての特徴 （例）同一単元の資料の種類や分かりやすさ
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	掲載情報の精選と分かりやすい配置、適切な図表の掲載、ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォントを他社と比較しての特徴

## 地図

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい社会 地図
4 6	帝国	中学校社会科地図

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（地図）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	地図の活用を促す工夫	地図の見方や資料の読み取り方等、地図を活用することを学ぶ工夫を他社と比較しての特徴 （例）自然や産業、世界遺産を示したページの充実
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象、環境教育、国際理解等に関する学習への活用に向けた記載の特色を他社と比較しての特徴 （例）国土の地理的環境や歴史的事象、世界の統計や日本と比較しているページの記載例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	思考力、判断力、表現力等を育む工夫	地図及び資料を活用して思考力、判断力、表現力等を働かせる工夫を他社と比較しての特徴
		④	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	主体的に探究的な学習活動を行うための課題の設定や有効な資料の提示の工夫を他社と比較しての特徴 （例）目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑥	題材や資料等の配列	内容の構成や配列の特色を他社と比較しての特徴 （例）各単元における項目の示し方、見出しの分かりやすさや統計資料の充実等
(オ)	内容の表現・表記	⑦	学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	資料の種類や内容、イラスト・写真・デジタルコンテンツ等の活用の有効性等を他社と比較しての特徴 （例）同一単元の資料の種類や分かりやすさ

# 数学

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい数学1・2・3
4	大日本	数学の世界1・2・3
11	学図	中学校 数学1・2・3
17	教出	中学数学1・2・3
61	啓林館	未来へひろがる数学1・2・3
104	数研	これからの 数学1・2・3
116	日文	中学数学1・2・3

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【数学科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

### 【学年の目標】

#### 第1学年

- (1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。

- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。

## 第2学年

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

## 第3学年

- (1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数  $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（数学）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	知識及び技能の定着を図るための工夫	学び直しに関する工夫、学習内容の定着、既習事項の確認及び振り返りに関する扱い方の工夫を他社と比較しての特徴
		②	概念的な理解を促す工夫	数量や図形などについての基礎的な概念を理解するための学習課題と学習の展開の仕方を他社と比較しての特徴
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	数学的な表現を用いて自分の考えを説明し合う活動の工夫	学んだことを用いて説明したり、話し合ったりする課題の工夫を他社と比較しての特徴 (例) 生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題例
		④	問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫	問題発見・解決の過程において数学的な見方・考え方を働かせることを学ぶ工夫を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫	日常生活や社会との関わりの中で、数学で学んだことを活用したり、自ら課題を発見したりするための工夫を他社と比較しての特徴 (例) 単元の初めや巻頭における課題の提示の工夫
		⑥	問題解決的な学習を実施するための工夫	問題解決的な学習に活用できる課題設定の工夫を他社と比較しての特徴 (例) 目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方等
		⑦	問題解決的な学習に対する振り返りの工夫	問題解決的な学習で働かせた数学的な見方・考え方を定着させ、その意義を実感するための振り返りの工夫を他社と比較しての特徴
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧	単元や資料等の配列	生徒の理解の実態に即した各単元の内容構成や単元の配列、巻末問題の特色、分量を他社と比較しての特徴
		⑨	発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習に思考を促す工夫を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑩	イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用	イラスト・写真、デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴 (例) 有効に活用可能な具体例

## 理科

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい科学1・2・3
4	大日本	理科の世界1・2・3
11	学図	中学校 科学1・2・3
17	教出	自然の探究 中学理科1・2・3
61	啓林館	未来へ広がるサイエンス1・2・3

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【理科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

#### ○第1分野の目標

物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

#### ○第2分野の目標

生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
- (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（理科）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	知識や概念を定着させるためのまとめや理解を深めるための資料の工夫を他社と比較しての特徴 （例）単元末のまとめ
		②	観察・実験の技能を習得させるための工夫	観察や実験の内容・手順・補足事項及び観察・実験における安全確保についての的確さや分かりやすさを他社と比較しての特徴 （例）同一実験において、注意の示し方
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	単元の導入において、課題を設定するための工夫	単元の導入における問いを喚起し課題を明確にするための工夫を他社と比較しての特徴
		④	観察、実験を評価する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫	観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方とその具体例を他社と比較しての特徴
		⑤	科学的な概念を使用して考えたり、説明したりする活動の工夫	科学的概念を使って話合いや説明を行う学習活動の示し方、話合いを促すポイントの具体例を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫	日常生活や社会・職業との関わりの中で、理科で学んだことを活用したり、自ら課題を発見したりするための工夫を他社と比較しての特徴 （例）同一単元において、日常生活や社会との関連付けを図る具体例
		⑦	科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫	科学的な探究活動の手順の提示や課題設定場面や考察場面の例示等の特色を他社と比較しての特徴 （例）目標設定や問いの立て方、学習活動の示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧	単元の配列の工夫	単元の内容構成と配列・分量、巻末資料の内容・分量を他社と比較しての特徴 （例）目次
		⑨	補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫	補充的な学習内容や発展的な学習内容の工夫を他社と比較しての特徴 （例）単元末の発展的探究課題、コラム、巻末資料
(オ)	内容の表現・表記	⑩	写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い	写真、資料、デジタルコンテンツ等の示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴 （例）同一単元における写真、図、グラフ、表、デジタルコンテンツ、有効に活用可能な具体例

## 音楽（一般）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
1 7	教出	中学音楽 1 2・3上 2・3下 音楽のおくりもの
2 7	教芸	中学生の音楽 1 2・3上 2・3下

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

#### 【学年の目標】

##### 第1学年

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

##### 第2学年及び第3学年

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（音楽 [一般]）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 表現、鑑賞領域の知識及び技能の習得を図るための工夫	歌唱分野及び創作分野における知識及び技能、鑑賞領域における知識に関する記載の工夫を他社と比較しての特徴 （例）具体例の示し方等
		② 題材の学習目標等の示し方	目標の示し方と目標にかかわるポイントの示し方は具体的で分かりやすいものになっているかを他社と比較しての特徴 （例）題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 音楽表現を創意工夫させるための工夫	歌唱分野及び創作分野における学習過程の示し方や表現の工夫に関わる記述の工夫を他社と比較しての特徴
		④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び指導内容の工夫を他社と比較しての特徴 （例）工夫の具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫を他社と比較しての特徴 （例）工夫の具体例
		⑥ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活や文化との関わりについての記述の工夫を他社と比較しての特徴 （例）我が国や世界の音楽文化の扱い方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 我が国の音楽に関する内容の扱い	我が国の音楽に関する扱いの特色を他社と比較しての特徴 （例）学年ごとに扱う鑑賞曲・歌唱教材
		⑧ 教材の配列及び分量	領域ごとの教材選定や題材の配列・分量の特色と示し方の工夫を他社と比較しての特徴 芸術祭との関わりにおいて、有効な点があるか （例）領域ごとにおける題材の構成等
(オ)	内容の表現・表記	⑨ [共通事項]の指導を充実させるための工夫	表現領域における音楽を形づくっている要素の示し方を他社と比較しての特徴 （例）工夫の具体例
		⑩ 楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用	楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴 （例）有効に活用可能な具体例

## 音楽（器楽合奏）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
1 7	教出	中学器楽 音楽のおくりもの
2 7	教芸	中学生の器楽

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

#### 【学年の目標】

##### 第1学年

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

##### 第2学年及び第3学年

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（音楽 [器楽合奏]）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫	器楽教材における知識及び技能の示し方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）リコーダーの扱いの具体例
		② 題材の学習目標等の示し方	目標の示し方と目標に関わるポイントの示し方は具体的に分かりやすいものになっているかを他社と比較しての特徴 （例）題材名・学習目標の表記の仕方及び学習目標達成のための支援の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 音楽表現を創意工夫させるための工夫	学習過程の示し方の工夫や表現の工夫に関わる記述を他社と比較しての特徴 （例）等に関する学習過程の示し方
		④ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽を形づくっている要素の示し方及び指導内容の工夫を他社と比較しての特徴 （例）工夫の具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫を他社と比較しての特徴 （例）工夫の具体例
		⑥ 音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫	音や音楽と生活や文化との関わりについての記述の工夫を他社と比較しての特徴 （例）我が国や世界の音楽文化の扱い方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 我が国の音楽に関する内容の扱い	我が国の音楽に関する扱いの特色を他社と比較しての特徴 （例）学年ごとに扱う和楽器等
		⑧ 教材の分量及び構成	領域ごとの教材選定や題材の配列・分量の特色と示し方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）領域ごとにおける題材の構成等
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用	楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴 （例）有効に活用可能な具体例

# 美術

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
9	開隆堂	美術 1 美術 2・3
38	光村	美術1 2・3
116	日文	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びと実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来

## 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

### 【美術科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

### 【学年の目標】

#### 第1学年

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

#### 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分

の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。

- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（美術）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫 対象や事象を捉える造形的な視点の示し方の特色を他社と比較しての特徴
		②	形や色彩、材料や用具の取扱等の定着を図るための工夫 形や色彩、材料や用具の扱い方や安全確保などについての知識や技能を身に付けさせる工夫を他社と比較しての特徴 (例) 教材や用具の取扱い等の示し方の工夫
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫 表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫や内容の特色を他社と比較しての特徴
		④	表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫 発想や構想、鑑賞の場面における主体的な言語活動を促す工夫を他社と比較しての特徴 (例) 発想や構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方、具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	興味・関心を高めるための工夫 表現及び鑑賞への興味・関心を高めるためのコンテンツやその示し方の工夫を他社と比較しての特徴 (例) 導入の文の示し方と具体例
		⑥	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫 生活や社会の中の美術の働きの示し方及び指導内容の工夫を他社と比較しての特徴
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材の配列 教材選定や題材や資料の構成・配列・分量の特色を他社と比較しての特徴
(オ)	内容の表現・表記	⑧	作品等についての示し方の工夫 興味・関心を引き出すための作品等や造形活動の有効な示し方の工夫を他社と比較しての特徴
		⑨	デジタルコンテンツの活用 デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴 (例) 有効に活用可能な具体例

## 保健体育

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい保健体育
4	大日本	中学校保健体育
50	大修館	最新 中学校保健体育
224	学研	新・中学保健体育

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【保健体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

#### 【体育分野の目標】

##### 第1学年及び第2学年

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

##### 第3学年

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

- (2) 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

**【保健分野の目標】**

- (1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（保健体育）

観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	① 単元の目標の示し方	単元のねらいの具体性・分かりやすさとその示し方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）同時期又は同じ単元の流れの示し方、一時間ごとの課題提示と学習内容の示し方の工夫等
		② 知識及び技能の習得を図る工夫	基本用語の示し方の工夫と学習の振り返りの工夫を他社と比較しての特徴 （例）健康・安全に関する科学的な理解を図るための具体例等
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫	保健体育で学ぶ見方・考え方を働かせる活動の工夫を他社と比較しての特徴
		④ 個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習方法の工夫を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 自己の課題を見つけ、その解決に向けた学習活動の工夫	主体的に課題を発見し解決する学習活動を実現するための学習の進め方の示し方や課題解決の過程の工夫を他社と比較しての特徴 （例）単元ごとの導入方法、まとめや振り返りの工夫等
		⑥ 興味・関心を高めるための工夫	学習内容への興味・関心を高めるためのコンテンツやその示し方を他社と比較しての特徴 （例）効果が期待できる読み物
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	単元における項目構成、資料等の配列・分量の特色を他社と比較しての特徴
		⑧ 発展的な学習に関する内容の工夫	発展的な学習として取り上げる内容やその示し方の特色を他社と比較しての特徴 （例）発展的な学習の記載例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ イラスト・写真等の活用	本文記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真の示し方、マーク等の活用を他社と比較しての特徴
		⑩ デジタル教材の活用	技能の習得につながるデジタル教材の示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴

## 技術・家庭（技術分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
6	教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
9	開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

#### 【技術分野の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（技術）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基礎的な用語（キーワード等）の示し方や内容、基本的な技能の習得のための記述の工夫等を他社と比較しての特徴
		②	技術の概念の理解を促すための工夫	技術の概念の理解を促すための工夫を他社と比較しての特徴
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫	「技術の見方・考え方」を働かせるための記述の工夫を他社と比較しての特徴
		④	技術による問題の解決を行うための工夫	技術によってさまざまな問題を解決する思考活動を行う工夫を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	目標の示し方	各内容における学習項目の目標の具体性・分かりやすさを他社と比較しての特徴 （例）題材ごとの目標の示し方と具体例
		⑥	学習過程の工夫	主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとするための工夫を他社と比較しての特徴
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	題材や資料等の配列	題材や学習内容の構成、配列・分量の特色を他社と比較しての特徴
		⑧	実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の課題設定の特色、活動の手順や振り返り方法等の学び方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）同一題材の具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑨	各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連させた学習の進め方の特色とその示し方の工夫を他社と比較しての特徴
		⑩	デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴

## 技術・家庭（家庭分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
6	教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
9	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

#### 【家庭分野の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（家庭）

	観点	視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫 基礎的な用語（キーワード等）の示し方や内容、基本的な技能の習得のための記述の工夫等を他社と比較しての特徴
		②	実践的、体験的な学習を実施するための工夫 実践的・体験的な学習の課題設定の特色、活動の手順や振り返り方法等の学び方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）同一題材の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	生活の中から課題を見いだすための工夫 生活の中から課題を見い出して「家庭の見方・考え方」によって思考する学習過程の示し方と具体例の特色を他社と比較しての特徴
		④	課題を実践し、評価・改善し表現するための工夫 「生活の課題と実践」における問題解決の示し方と実践例の特色を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	学習した内容を家庭や地域で実践するための記述 学習した内容を家庭や地域で実践するための学習のまとめ等の工夫を他社と比較しての特徴
		⑥	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫 「生活の営みに係る見方・考え方」を実生活に即して働かせるための工夫を他社と比較しての特徴
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	発展的な学習の扱い方 発展的な学習として取り上げる内容やその示し方の特色を他社と比較しての特徴 （例）発展的な学習の具体例
		⑧	他教科等と関連させて学習を進める工夫 他教科等と関連させた学習の進め方の特色とその示し方の工夫を他社と比較しての特徴 （例）他教科等と関連する内容の具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑨	特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫 ユニバーサルデザインを取り入れた構成、デザイン等の特色を他社と比較しての特徴
		⑩	デジタルコンテンツの活用 デジタルコンテンツの示し方・分量・内容を他社と比較しての特徴

## 英語

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	NEW HORIZON English Course 1 2 3
9	開隆堂	Sunshine English Course 1 2 3
15	三省堂	NEW CROWN English Series 1 2 3
17	教出	ONE WORLD English Course 1 2 3
38	光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 2 3
61	啓林館	BLUE SKY English Course 1 2 3

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【参考・学習指導要領解説 外国語編 第2章 第2節 3（3）から抜粋】

教材については、次の事項に留意するものとする。

- ア 教材は、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するため、1に示す五つの領域別の目標と2に示す内容との関係について、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮した題材を取り上げること。
- イ 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮すること。
- (ア) 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。
  - (イ) 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。
  - (ウ) 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（英語）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	単元の目標の示し方	単元の目標の示し方の具体性・分かりやすさを他社と比較しての特徴
		②	基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫	領域統合型の言語活動の特色を他社と比較しての特徴 （例）語彙や文法事項が効果的に、繰り返し扱われるなど、基礎・基本の定着を図る言語活動の設定等の工夫等
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	単元における言語活動の工夫	自分の考えや気持ちなどを伝え合う日常的な生活や学習の場面が取り上げられた単元の特色を他社と比較しての特徴
		④	知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	4技能5領域を統合的に活用させる言語活動の特色を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	単元に対する興味・関心を高めるための工夫	「聞くこと」、「話すこと」の言語活動が主体的に行われるための工夫を他社と比較しての特徴 （例）単元の導入における工夫
		⑥	単元等における振り返りの工夫	単元など学習内容のまとめりとともに生徒自らが活動の軌跡と成果を振り返る工夫を他社と比較しての特徴 （例）学習内容ごとの振り返りの設定の工夫及び具体例の提示等
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元の構成・配列の工夫	5領域の示し方、言語活動の構成・配列の特色を他社と比較しての特徴 （例）単元における4技能5領域に関連した言語活動の工夫等
		⑧	小学校外国語科からの接続を図った構成・配列	小学校外国語科との接続を図った言語活動の特色を他社と比較しての特徴 （例）小学校外国語科との接続を図った内容の具体例等
(オ)	内容の表現・表記	⑨	巻末資料、付録等の工夫	巻末資料や付録等の内容や語彙リスト、デジタルコンテンツの特色を他社と比較しての特徴 （例）巻末資料や付録等の内容及び提示の工夫等
		⑩	学習到達目標の設定	自らの学びを振り返る学習到達目標の示し方の特色を他社と比較しての特徴 （例）自らの学びを振り返る学習到達目標の工夫等

## 特別の教科 道徳

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号および略称		教科書名
2	東書	新編 新しい道徳 1・2・3
1 7	教出	中学道徳 1・2・3 とびだそう未来へ
3 8	光村	中学道徳 1・2・3 きみが いちばん ひかるとき
1 1 6	日文	中学道徳 あすを生きる 1・2・3 道徳ノート
2 2 4	学研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1・2・3
2 3 2	あか図	中学生の道徳 1・2・3
2 3 3	日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する

### 2 学習指導要領における教科・分野の目標等

#### 【特別の教科 道徳の目標】

#### (1) 第1 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

#### (2) 第2 内容

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、以下に示す項目について扱う。

#### A 主として自分自身に関すること

##### [自主、自律、自由と責任]

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

##### [節度、節制]

望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。

##### [向上心、個性の伸長]

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

[希望と勇気、克己と強い意志]

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

[真理の探究、創造]

真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

## B 主として人との関わりに関すること

[思いやり、感謝]

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

[礼儀]

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

[友情、信頼]

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

[相互理解、寛容]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

## C 主として集団や社会との関わりに関すること

[遵法精神、公德心]

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

[公正、公平、社会正義]

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

[社会参画、公共の精神]

社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

[勤労]

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。

[家族愛、家庭生活の充実]

父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

[よりよい学校生活、集団生活の充実]

教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

[郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

[我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。

[国際理解、国際貢献]

世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ]

生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。

[自然愛護]

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。

[感動、畏敬の念]

美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

[よりよく生きる喜び]

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだすこと。

3 尾道教育総合推進計画でめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科書の調査研究における観点及び視点、方法例（道徳）

	観点		視点	方法（例）
(ア)	知識及び技能の習得	①	道徳科の学び方等の示し方	道徳的価値に迫るための学び方等の記載の特色について他社と比較しての特徴 （例）学年の初めのオリエンテーションのタイトル、視点の示し方、記載例の工夫、学びの手引き等
		②	発問の工夫	道徳的価値に迫る発問の内容や提示の仕方の特色を他社と比較しての特徴 （例）発問の記載個所、記載例等
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	考えを伝え合う活動の工夫	「考え方を議論する」ための活動内容の特色や資料提示の工夫を他社と比較しての特徴 （例）自分の考えをもとに話し合うため工夫の具体例
		④	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	自分の考えをまとめる際や学習の振り返りをする際の観点等の工夫を他社と比較しての特徴
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤	問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習における、教材、問題意識の持たせ方、課題設定等の特色を他社と比較しての特徴 （例）問題解決的な学習の扱い、問題意識の持たせ方等
		⑥	体験的な学習を取り入れた工夫	自分の生き方や日常生活や社会と関連させながら考えることができる学習の特色を他社と比較しての特徴 （例）キャリアを形成する力を育む教材、自己肯定感を高める教材の具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦	分量や教材の数	内容構成や配列の特色（内容項目に偏りがいないか、重点をおいている内容項目はどれか）を他社と比較しての特徴 （例）「いじめ」に関する内容項目を重視
		⑧	現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	現代的な課題を自分の問題として解決に向けて考えさせる工夫を他社と比較しての特徴 （例）いじめの取り上げ方（間接的か直接的か）（SNSの扱い）その他（主権者教育、郷土を愛する心、国際交流、防災教育、性の多様性等）
(オ)	内容の表現・表記	⑨	巻頭、巻末等の取扱いの工夫	巻頭、巻末資料の示し方や内容の特色を他社と比較しての特徴
		⑩	教材の内容を理解させる工夫	内容の理解を促すデジタルコンテンツやイラスト、写真等の有効性を他社と比較しての特徴

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	国 語
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②情報の扱い方に関する事項</b> ○情報と情報との関係の捉え方や、比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方を、生徒にとって身近な例を題材にして、体系的に学ぶことができるようになっている。また、単元間の学習項目の連続性が考慮されている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④自分の考えを形成する活動の工夫</b> ・「話すこと・聞くこと」において、社会生活を話題にした話し合い活動の単元が設定されている。合意形成に関する説明や話し合いの具体例が書かれており、生徒が見通しをもって活動に取り組むことができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑧学習を振り返るための工夫</b> ・教材文の「見通す」に目標、生徒目線で書いた「問いかけ」を示し、「言葉の力」を用いて学習を進める。「振り返る」は、目標に対する振り返りの指示になっており、学習の定着を確認しやすい。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑩単元・教材等の配列</b> ・各単元は、「読むこと」の教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のいずれかの領域の教材及び「知識及び技能」の教材で構成されているため、基本的な知識と技能を定着させながら読む力を育める。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑫デジタルコンテンツの活用</b> ○「話すこと・聞くこと」の良い例・悪い例の比較動画や古文の朗読動画がある。ゲーム・クイズ形式の文法問題があり、生徒が意欲的に取り組める。テーマごとに語彙を検索でき、意味や用例を確認しながら語彙力を高められる。</p>
三省堂	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②情報の扱い方に関する事項</b> ・多様な情報を関連付けながら、現代社会の課題について考えを深められるよう工夫してあり、内容を難易度に応じて整理しているため、系統的に学習することができる。</p>

	<p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④自分の考えを形成する活動の工夫</p> <p>○単元ごとに身に付けたい思考力・判断力・表現力の具体を分かりやすく示している。各学年の「話す・聞く」において、学校生活を話題にしたグループディスカッションの単元を設定しており、協働的な学習活動を行うための話し合いのスキルを1年次から系統的かつ具体的に示している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑧学習を振り返るための工夫</p> <p>○単元冒頭の「学びの道しるべ」で単元目標と学習活動の手順を分かりやすく示し、「思考の方法」で国語科で身に付けたい思考の方法を示している。教材末の「学びを振り返る」では、目標で示したキーワードを振り返りの視点とし、学習の定着が図れるようにしている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨単元の構成</p> <p>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の教材の複数の領域をセットで単元構成しているため、異なる領域を併せた指導がしやすく、幅広い学習活動で指導の工夫がしやすい。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑫デジタルコンテンツの活用</p> <p>○「話すこと・聞くこと」の良い例・悪い例の比較動画や作文例等を見ることができ、活動の具体をイメージすることができる。教材に応じたワークシートや、漢字と文法に関するデジタルドリルがあり、生徒が自主的に学習に取り組むことができる。</p>
教 出	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②情報の扱い方に関する事項</p> <p>・各学年とも、本編の情報活用に係る単元、1年「情報を得る」、2年「情報を捉える」、3年「情報を共有する」を設定し、系統的に情報を扱う学習ができる。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④自分の考えを形成する活動の工夫</p> <p>・「話す・聞く」において、社会問題と学校生活を関連付けた話し合い活動をする単元を設定している。合意形成のための話し合いのポイントや話し合いの具体例があり、生徒がイメージをもって学習できる。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑧学習を振り返るための工夫</p> <p>・「振り返り」は「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返りと、「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。目標で示した項目を「学びナビ」を用いて学習し、「振り返り」で確認できる。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑩単元・教材等の配列</p> <p>・各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域</p>

	<p>と「知識及び技能」の内、複数の教材で構成しているため、基本的な知識・技能を定着させながら各領域の力の向上を目指しやすい。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑫デジタルコンテンツの活用</b></p> <p>・二次元コードのある教材では、教材の解説・関連資料を見ることができ、単元の学習の参考にできる。</p>
<p>光 村</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①言葉の特徴や使い方に関する事項</b></p> <p>○資料として「語彙ブック」があり、描写・言動・思考・コラムという分類で学年に応じた語句を整理している。また、デジタルコンテンツに「言葉の宝箱（小学校）」があり、語彙力を鍛えようとしている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④自分の考えを形成する活動の工夫</b></p> <p>・「話す・聞く」において、学校生活を話題に会議を開く単元が設定されている。合意形成の説明や話し合い例にポイントが示されており、身近な題材をもとに、見通しをもって話し合い活動を行うことができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥問題解決的な学習を実施するための工夫</b></p> <p>・持続可能な社会の創り手を育成するために、SDG s を題材にした特設教材「情報×SDG s」を設け、今日的な諸課題を題材として幅広く取り上げている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑩単元・教材等の配列</b></p> <p>・各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域と「知識及び技能」の内、複数の領域で構成されているため、基本的な知識・技能を定着させながら各領域の力の向上を目指しやすい。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑫デジタルコンテンツの活用</b></p> <p>○教材ごとの二次元コードで動画や関連資料を見ることができるほか、C B T（コンピュータを使用した試験）形式の問題があり、解答のテキスト入力・自己採点ができ、生徒の主体的な学習に役立つ。また、発展問題も用意しており、学習の定着が図れる。</p>

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	書 写
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②文字の書き方の示し方</b>            ○筆脈を点線で示している。また、朱墨で筆使いを示し、ポイントに、四つの動きを示すアイコンで筆使いを示しているため、行書の字形の整え方・運筆の際の圧力のかけ方・筆脈を意識した点画のつながりなどの特徴を確認しながら学習を進めることができる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫</b>            ・生徒が実際に書き込めるシートを作り、場面を想定して書く活動ができるため、実生活と関連付けて考えやすい。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫</b>            ・1年「身につける」2年「使い分ける」3年「使いこなす」と3年間の大きなめあてが示されている。防災訓練など、身に付けた力を地域社会や生活など様々な場面で生かそうとする学習材の工夫がある。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元・教材等の配列・分量</b>            ・小学校の学習の振り返りから始まり、姿勢や筆記具の扱い方、楷書、行書の学習を経ているため、効果的に書く学習ができる配列になっている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</b>            ○該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスできる書写テストに回答でき、定着度を自分で確認できる。</p>
三省堂	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②文字の書き方の示し方</b>            ・第1学年「行書 点画の形や方向の変化」において、筆脈を青の矢印や点線で示し、言葉で解説している。また、行書の文字（朱墨）と楷書の文字（黒字）を並べて示しているため、視覚的に理解しやすい。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫</b></p>

	<p>○手紙の構成を、手書きの場合とパソコンで書くときの構成も踏まえて示しているので、実生活と関連付けて考えやすい。また、「手書きの構成（横書き）」では、パソコンで書く場合についても触れており、他教科の活動にも関連する学習になっている。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫</b></p> <p>○グループ新聞や情報誌を作る単元では、協働的な活動が設定されており、相手意識をもち、書体や文字の大きさを選択することを教えている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元・教材等の配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢と構え方を学習し、楷書、楷書と仮名、行書の学習を経て文字文化の豊かさについて学習するという配列になっているため、見通しがもてる。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、関連する資料の概要を確認することができる。文例に尾道市の住所が使われている。</li> </ul>
<p>教 出</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②文字の書き方の示し方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「連続」や「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示し、視覚的に理解できる。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような点に注意すると良いか、話し合うための観点が示されているため、学習の見通しがもてる。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭の植物を観察してレポートにまとめるなど、学習したことを学校生活と関連付けた単元が設定してあるため、実生活で生かそうとする力がつく。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元・教材等の配列・分量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書、楷書と仮名の調和、行書、行書と仮名の調和の学習を経て学習活動や日常生活に生かして書く学習という配列になっているため、学習のつながりを感じながら学習を進めることができる。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、硬筆と毛筆の違いが分かりやすく学習できる。</li> </ul>

光 村	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方</b></p> <p>○書写ブックではスタートブックとして、姿勢、筆記具のもち方、用具の準備、片付け等、学習活動の基本的なことをきちんと教えている。「タブレットを活用しよう」というコーナーを設定し、学びを深めるためにタブレットを活用する際の姿勢や持ち方を動画で示し、また、書いている際の姿を撮影して互いに確かめ合ったり、書いた文字を撮影して自己評価したりする活用方法を紹介している。SDGsと書写の関連付けがあり、SDGsの視点で考えることができる。また、左利きの人の用具の準備写真が掲載されており、左利きの生徒への配慮もある。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫</b></p> <p>・「考えよう」では、目的や場面に応じて楷書と行書の使い分けや、フォントなどの文字を使い分ける必要があることを学び、実生活に生かそうとする力を養うことができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤学習の見通しを立てるための構成上の工夫</b></p> <p>○行書の特徴を四つに整理し、「行書スイッチ」のイラストを用いることや、筆使いを擬音語で示すことで、文字の書き方への理解を深めるとともに書く楽しさを感じることができる。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元・教材等の配列・分量</b></p> <p>○楷書、行書の学習を経て、文字を使い分けることや日常に役立つ書式の学習という配列になっているため学習によって身に付けることの見通しがもてる。また、書写ブックを活用して、書く力の定着を図ることができる。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</b></p> <p>・該当箇所の二次元コードからコンテンツにアクセスでき、「全国文字マップ」や「SDGsについて考え、行動しよう」等、教科用図書に収録されていない関連資料を二次元コードで確認することができ、学習が広がる。文例に尾道市が使われている。</p>
-----	--

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会（地理的分野）
-----	------------

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>            ○見開きごとにタイトルと生徒の興味を引く副題、「どのような」「どのように」といった学習課題を示しており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるとともに、予め何を理解すればよいか明確になっている。また、ページ下部に「チェック」「トライ」を設けており、知識の定着と深化に効果が期待できる。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b>            ・巻頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し「見方・考え方」として「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。また、「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、「見方・考え方」と資料を結びつけた「資料を活用する力をきたえよう」というページを設けている。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b>            ・単元の導入で1ページを使用し、探究課題や学習の流れを掲載することで、目標設定や問いの立て方についての手立てを示している。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b>            ・補充的教材や地域の事例に関する資料を巻頭ページに掲載している。</p> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑩掲載している情報を精選し、視点を明確にする工夫</b>            ○本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしており、現時の活動において着目すべきことに意識をむけることができる。また、円グラフや帯グラフには文字や数字を入れたり、複数のデータを掲載した折れ線グラフは、データごとに色を変えたりするなど、どのような生徒にとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっている。</p>
教 出	<b>（ア）知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>

	<p>・見開きごとにタイトルと副題、「どのような」「どのように」といった学習課題を示している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <p>・巻頭に「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し「見方・考え方」として「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b></p> <p>・単元の1ページ目において、章の問い・学習課題・見方や考え方を掲載することで、目標設定や問いの立て方についての手立てを示している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b></p> <p>・単元の構成や学習の流れに関する資料を巻頭ページに掲載している。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b></p> <p>・本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。</p>
<p>帝 国</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b></p> <p>○見開きごとにタイトルと「どのような」「どのように」といった学習課題を示している。加えて、思考を焦点化させる表現で章全体を通した問いを掲載しており、見開きの学習内容に係る問いだけでなく、生徒は、章全体の学習を通してどんな知識や技能を習得すればよいかを理解した上で、学びを進めることができるようになっている。また、ページ下部に「確認しよう」「説明しよう」を設けており、知識の定着と深化に効果が期待できる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <p>○巻頭に「地理的な見方・考え方」を設定し「見方・考え方」として「位置や分布」「場所」「人間と自然の関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。地理的な見方・考え方を働かせて自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」を設けている。「見方・考え方」を予め示していることにより、何を意識して考えればよいか、手掛かりにすることができ、かつ深い思考に結び付けることができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b></p> <p>・単元の導入で1ページを使用し、これまでの学習と地域のあり方の関係を図示し、2ページ目に章の問いを掲載することで、目標設定や問いの立て方</p>

	<p>についての手立てを示している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b></p> <p>○巻頭ページで、「地理的な見方・考え方」や、考えを整理する方法として「マトリクス」「ベン図」「ウェビング」「ステップチャート」など4種の思考ツールとその活用方法を示しており、効率的かつ深く考えていくことができるようになっている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b></p> <p>・本文ページのレイアウトを統一している。</p>
日 文	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b></p> <p>○見開きごとにタイトルと「どのような」「どのように」といった学習課題を示している。学習課題から「見方・考え方」へつなげる表示があり、生徒の深い学びに結び付けることができる。また、学習課題については、右ページ下部の「確認」「表現」で知識の定着と深化に効果が期待できる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <p>・巻頭に「地理的な見方・考え方って？」を設定し「見方・考え方」として「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」を示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</b></p> <p>○単元の導入で2ページを使用し、学習の内容・問い・学習の流れ・見方や考え方・小学校との関連等を掲載することで、生徒にとっては、探究的な学習活動をより主体的に行いやすく工夫している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b></p> <p>・巻頭ページで、「地理的な見方・考え方」の解説を行っている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b></p> <p>・本文ページのレイアウトを統一している。</p>

## 種目ごとの審議結果

### 【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会（歴史的分野）
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ○見開きごとにタイトルと副題、「どのような」「どのように」といった学習課題を、思考を喚起する表現で示しており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるようになるとともに、予め何を理解していればよいか明確になっている。また、ページ下部に「チェック」「トライ」を設けており、学習課題に対して理解できているかどうか確認できる。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b>  ○「歴史的な見方・考え方」の解説を掲載し、特設ページでは「歴史的な見方・考え方」に基づいた課題を示しており、歴史の流れの「推移」、別のこととの「比較」、「相互の関連」「現在とのつながり」など、生徒が、どのような点に着目してどのように考えるか、科学的な思考を行うよう設定している。章のまとめでは「歴史的な見方・考え方」に基づいて思考ツールを活用しながら考えを深めていく課題が示している。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b>  ・章の冒頭4ページを導入に使っている。絵図やイラスト等の資料の読み取りや話し合い活動を通し、探究課題につながるよう構成している。見開き右下に「探究のステップ」を設け、学習の見通しをもてるようにしている。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b>  ・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「もっと知りたい！」を、地域事例については特設ページ「地域の歴史を調べよう」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</p> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b>  ○本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の</p>

	<p>掲載部分を色分けしていることで、本時の活動において着目すべきことに意識をむけさせることができる。また、円グラフや帯グラフには文字や数字を入れる、複数のデータを掲載した折れ線グラフはデータごとに色を変えるなど、どのような生徒にとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっている。</p>
<p>教 出</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ○見開きごとにタイトルと副題、「どのような」「どのように」といった学習課題を示しており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるようになるとともに、予め何を理解していればよいか明確になっている。また、ページ下部に「確認!」「表現!」を設けており、学習課題に対して理解できているかどうか確認できる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b>  ・「歴史的な見方・考え方」の解説を掲載し、章のまとめに「歴史的な見方・考え方」に基づいて考えを深めていく課題を示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b>  ・章の冒頭3ページを導入に使っている。絵図やイラスト等の資料の読み取りや問いに応じていくことで、章全体の問いにつながるよう構成している。3ページ目の下に「学習の見通し」を設け、学習の見通しをもてるようにしている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b>  ・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「歴史を探ろう」を、地域事例については特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b>  ○本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。また、円グラフや帯グラフには文字や数字を入れる、複数のデータを掲載した折れ線グラフは、データごとに色を変えるなど、どのような生徒にとっても分かりやすい、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっている。</p>
<p>帝 国</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ・見開きごとにタイトルと「どのような」といった学習課題を示している。小単元全体を通した問いも掲載している。また、見開き右ページに「確認しよう」「説明しよう」を設定し、学習課題に対応した課題を示し</p>

	<p>ている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫</b>  ○章の問いに対して学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめさせている。節の問いが改めて示してある等、これまでに学んだ知識を統合しながら章を振り返ることができるようになっている。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b>  ○章の冒頭1ページを導入に使っている。章の問いを示した上で予想を書くようにしている。また、ページ右下に、節の問いを示し、この章でどのようなことを学ぶか分かるようにしている。導入近くに当時の町や村落等を絵画にした「タイムトラベル」を設け、その時代がどのような時代であったか、大まかな特徴を予想させ、見通しをもって学習することができるようにしている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b>  ・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「アクティブ歴史」「世界とのつながりを考えよう地図編」「世界とのつながりを考えようイラスト編」を、地域事例については特設ページ「歴史を探ろう」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b>  ・本文ページのレイアウトを統一している。</p>
山 川	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ・見開きごとにタイトルと「どのような」「なぜ」といった学習課題を示している。また、見開き右ページに「ステップアップ」を設定し、学習課題に対応した課題を示している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫</b>  ・章のまとめとして、様々な観点や立場から問いについての自分の考えを文章にまとめさせる工夫がある。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b>  ・章の冒頭2ページを導入に使っている。章で学習する内容を日本史と世界史に分けて年表、歴史的事象の写真や絵図を示している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</b>  ・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」を、地域事例については特設ページ「地域からのアプローチ」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</p>

	<p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。掲載情報は多い。</li> </ul>
日 文	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとにタイトルと副題、「どのような」といった学習課題を示している。学習課題から「見方・考え方」へつなげる表示がある。また、見開き右ページに「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した課題を示している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史的な見方・考え方」の解説を掲載し、全ての見開きのタイトル下部に、そのページの学習で活用する「歴史的な見方・考え方」を示している。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編の冒頭4ページを導入に使っている。絵図や写真、年表や地図の読みとりを行っていくことで、編の問いにつながるよう構成している。4ページ目の下に節の問いを示すことで、学習の見通しをもてるようにしている。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「歴史を掘り下げる」「チャレンジ歴史」を、地域事例については特設ページ「でかけよう！地域調べ」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> </ul>
自由社	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマーク表示がある。巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示している。本文と特設ページ「もっと知りたい」で神話・伝承等について記載している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史用語ミニ辞典」「時代の流れを整理する問題」「時代比較の問題」「人物比較の問題」「ひとこと作文」「意見交換会」等のコーナーがある。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦課題の設定、整理・分析、振り返</p>

	<p>りを展開するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の歴史の調べ学習においては4つのテーマについて、人物を通した歴史の調べ学習においては2人の人物についてのまとめの例を示している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「もっと知りたい」「調べ学習のページ」を、地域事例については特設ページ「調べ学習のページ」の中で、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料を掲載している。二次元コードは掲載していない。</li> </ul>
育鵬社	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料に「国宝」「世界遺産」のマーク表示がある。巻頭や巻末で世界遺産や国宝を地図等とともに示している。特設ページ「歴史ズームイン」で神話・伝承等について記載している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史的な見方・考え方」の解説を掲載し、特設ページでは「歴史的な見方・考え方」に基づいた課題を示している。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の冒頭4ページを導入に使っている。イラスト年表である「歴史絵巻」と、図を読み取る「〇〇の世界へようこそ」で構成されている。章の問いと節の問いが4ページ目に示され、学習の見通しをもてるようにしている。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習については特設ページ「歴史ズームイン」を、地域事例については特設ページ「地域の歴史を調べてみよう」を設け、本文の学習と関連したテーマを扱っている。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</li> </ul>
令書	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫</p>

・写真資料に「世界遺産」「重要文化財」のマーク表示がある。「国宝」についてその旨の記載がある。本文や資料、コラムに、神話・伝承についての記載がある。

**(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫**

・政治、文化、外交、産業の視点からの設問に答えた後、Qに対して文章でまとめさせる工夫がある。

**(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫**

・年表に基づき、政治、外交、文化、産業の4つの観点からの問いを示している。

**(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列・分量**

・章立ては古代から現代へと時系列に沿っている。補充的・発展的な学習についてはコラムに本文と関連した記載があり、地域事例については「身近な歴史を年表にまとめよう」で歴史の調べ方を示している。

**(オ) 内容の表現・表記 ⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫**

・本文は縦書き、脚注は横書きである。掲載情報は多い。

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会（公民的分野）
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ○見開きごとのタイトルと副題が、「どのような」「どのように」といった学習課題について、思考を喚起する表現で示されており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるとともに、予め何を理解すればよいかを明確にすることができる。また、ページ下部に「チェック」「トライ」が設けており、学習課題に対して理解できているかどうか確認できる。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫</b>  ○「確かめよう」「ふり返ろう」により段階的に学習を振り返った後、複数の資料を活用しながら「深めよう」で多面的・多角的に考えさせている。効率的かつ深い思考となるよう「Y チャート」「ダイヤモンドランキング」などの思考ツールを活用している。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b>  ・章の冒頭3ページを単元の導入に使っている。3枚の写真から学習内容を大まかにつかんだ後、導入の活動についてグループ学習、個人学習を行い、章の探究学習につなげている。3ページ目に「探究のステップ」として各節の問いを掲載している。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫</b>  ○特設ページ「18歳へのステップ」、章末「深めよう」を設け、「S市の議員になって条例を作ろう」などの社会参加を促す内容としている。18歳に有権者となることが意識づけられるとともに、社会参画意識が醸成される効果が期待できる。</p> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑩掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b>  ・本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色をつけ、本文との区別をしている。</p>
教 出	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b>  ○見開きごとに生徒の興味を引くタイトルと副題、「どのような」「どの</p>

	<p>ように」といった学習課題を示しており、生徒は興味をもって学習に臨むことができるとともに、何を理解すればよいか明瞭になる。また、右ページ下部に「確認!」「表現!」が設けており、学習課題に対して理解できているかどうか確認できる。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫 ・「HOP!」「STEP!」「JUMP!」により、段階的に学習を振り返り、章の問いについて考えさせている。その際、思考ツールを紹介し、活用させている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫 ○章の冒頭3ページを単元の導入に使っている。3～4枚の写真から学習内容に興味をもたせた後、学習のはじめの課題に取り組ませ、章全体の問いにつなげている。また、課題について考えることを通して、公民的分野における「見方・考え方」について理解できるようになっている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫 ・特設ページ「持続可能な社会に向けて」、章末「学習のまとめと表現」を設け、社会参加を促す内容としている。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫 ・本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色をつけ、本文との区別をしている。</p>
<p>帝 国</p>	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方 ・見開きごとにタイトルと「どのような」「どのように」といった学習課題を示している。また、小単元全体を通した問いを掲載している。右ページ下部に「確認しよう」「説明しよう」が設けており、学習課題に対応した課題を示している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫 ・章の学習を節ごとに振り返った後、章全体の問いについて考えさせている。効率的かつ深い思考となるよう図や思考ツールを活用している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫 ・章の冒頭3ページを使っている。「公民的分野」「地理的分野」「歴史的分野」に係る3枚の写真から学習内容を大まかにつかんだ後、導入の活動を行い、章の問いにつなげている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫 ・特設ページ「アクティブ公民」「18歳への準備」を設け、社会参加を促す内容としている。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確に</p>

	<p><b>する工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> </ul>
日 文	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①学習課題の示し方</b></p> <p>○見開きごとにタイトルと「どのような」「どのように」といった学習課題を示している。学習課題から「見方・考え方」へつなげる表示がある。見開き右ページに「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した課題を示している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1章をとって持続可能な社会の形成について考える工夫がある。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b></p> <p>○章の冒頭2ページを単元の導入に使っている。5～9コマの漫画で、生徒が興味をもち、学習内容を大まかにつかむ工夫がとられている。また、章の問いや各節の問いを掲載しており、学習の見通しをもって単元の学習に臨むことができるようになっている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページ「明日に向かって」「チャレンジ公民」を設け、社会参画を促す内容としている。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> </ul>
自由社	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗・国歌については「国旗と国歌」、特設ページ「もっと知りたい国旗と国歌を考えてみよう」で取り上げている。我が国の領域をめぐる問題については「国家と国際関係」、特設ページ「もっと知りたい わが国の領土問題」で取り上げている。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④見方・考え方を働かせるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページで持続可能な社会の形成について考える工夫がある。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の冒頭1ページにイラストを掲載し、章で学ぶ内容を問いとして記載している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページ「アクティブに深めよう」を設け、社会参画を促す内容としている。</li> </ul>

	<p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料が掲載されている。二次元コードは掲載されていない。</li> </ul>
育鵬社	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗・国歌については「国家と私たち」の中で取り扱っている。領域をめぐる問題については「領土・領海をめぐる問題」、特設ページ「学習を深めよう 日本の領土をめぐる問題」で取り上げている。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ⑤学習のまとめの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「政治のこれから」「経済のこれから」「国際社会のこれから」というテーマに基づき、資料を読み取ったり、話し合ったりしながら問いについて段階的に考える工夫がある。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元の導入における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の冒頭3ページを導入に使っている。3枚の写真から学習内容を大まかにつかんだ後、学習の入り口としての課題に取り組み、章全体の問いにつなげている。3ページ目に各節の問いを掲載している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨社会参画への意識を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ページ「やってみよう」、章末「〇〇のこれから」を設け、社会参画を促す内容としている。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文ページのレイアウトを統一している。</li> </ul>

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	社 会 (地図)
-----	----------

発行者	総合的な所見
東 書	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①地図の活用を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」を設け、一般図や主題図等の見方、読み取り方、デジタルコンテンツの使い方を記載している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫</p> <p>○「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をする「ミツバチーズ」」というキャラクターが、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる157の問いを出している。生徒が親しみを感じながら、地図の活用や、地理の学習を深めるためのヒントとして、問いについて考えたり、考えた結果を表現したりすることができるようになっている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑥題材や資料等の配列</p> <p>○インデックスを「世界全体」「日本全体」「世界と日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、さらに世界は州ごとに、日本は地方ごとに細かく分類し、色分けしており、目指す州や地方等をどのページに掲載しているか、容易に探すことができるよう工夫してある。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを記載しており、そのページに関する地図や問いの解答を見ることができる。</li> </ul>
帝 国	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①地図の活用を促す工夫</p> <p>○巻頭に「この地図帳の凡例」「地図帳の使い方」を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方を記載している。鳥瞰図を掲載していることで、生徒にとって分かりやすく、興味をもって学習をすることができる。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④目的に応じて適切に表現する</p>

**力を育てるための工夫**

・「Q 地図で発見！」のコーナーを設け、地図をもとに確認したり深めたりする問いを掲載している。

**(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫**

○世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。資料ページには鳥瞰図があり、生徒にとって分かりやすく、興味をもって学習をすることができる。身近な地域の情報の記載がある。

**(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑥題材や資料等の配列**

○インデックスを「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」という実際の活用に則した分類となっており、色分けしてシンプルで分かりやすい表記としている。東京書籍より総ページ数が22ページ多く、地図や資料を豊富に掲載している。

**(オ) 内容の表現・表記 ⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い**

・デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを記載しており、該当の地域についての資料、動画が一覧で表示している。

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	数 学
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①知識及び技能の定着を図るための工夫</b>            ○章の学習につながる問いかけと共に各章のまとめりに「クイックチェック」を設定し、必ず身に付けたい問題を取り扱い、学び直しができるように工夫している。コンテンツ内で証明の学習を助ける証明メーカーなど、証明が苦手な生徒も性質を考えながら証明を進めることができる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫</b>            ○生徒が主体的に学習したことを実生活と結び付けて活用し、説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。箱ひげ図とヒストグラムなど異なる図を比較して、その特徴を比較したり、箱ひげ図の誤った読み取り方について批判的に考察して説明したりするなどして、思考力・判断力・表現力等を育成することができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥問題解決的な学習を実施するための工夫</b>            ○「深い学び」として、習得した知識・技能を活用して問題解決するページでは、飲み物を保冷バックに入れると、どれくらいの間、飲み物を冷たく保てるか考える等の生徒が解決したくなるような身のまわりの問題場面を設定し、「問題をつかむ→見通しをたてる（自分で考えてみよう、友だちの考えを知ろう）→問題を解決する（話し合ってみよう）→ふり返る→深める」という問題解決の過程を意識しながら活動させる工夫がある。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列</b>            ・「数学の目で、振り返ろう」で、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしている。「数学の自由研究」で日常生活や他教科の学習と関連した課題やそれをレポートにまとめる活動を例示している。</p>

	<p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</p> <p>○デジタルコンテンツが豊富で、視覚的に確認できる。また多くの問いの類題がフラッシュカードになっており、学び直しに活用することができる。</p>
大日本	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②概念的な理解を促す工夫</p> <p>・1年「比例・反比例」では、1時間ごとの気温の変化のようすなど、ともなって変わるいろいろな数量のうち、2つの数量に着目して、それらの数量の関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫</p> <p>・導入場面で、五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方（一つの頂点からひいた対角線によって三角形に分ける）を使って、六角形と七角形の内角の和を求める活動を設定している。（2年）</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</p> <p>・学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。仕事の中の数学を紹介する読み物を載せている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨発展的な学習に関する内容の記述</p> <p>・発展的内容は「多項式を累乗する展開」「背理法」「分母が多項式であるときの有理化」「2次関数」「図形のなかにいろいろな関数を見つけよう」などがある。（3年）</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</p> <p>・二次元コードから、「例・例題の解説動画」などのデジタルコンテンツを利用できる。解説動画を見て個別で学ぶことができる。</p>
学 図	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <p>○各学習のはじめに「Question」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決の見通しをもたせている。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫</p> <p>・導入場面で、2人の会話から小学校のとき五角形の内角の和を求めたことを想起させ、いろいろな求め方を考える中で、拓真さんの求め方（三角形分割）を取り上げ、多角形の内角の和の性質について考える活動を設定している。（2年）</p>

	<p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥問題解決的な学習を実施するための工夫</p> <p>○日常生活に関連した題材を取り上げ、水を熱する実験で、水が沸騰するのは何分後になるか予測する。「問題を見つけよう→実験して考えよう→グラフに表してみよう→説明してみよう→式に表して考えよう→新たな問題を見つけよう」という問題解決の過程を示している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨発展的な学習に関する内容の記述</p> <p>・発展的内容は「乗法の公式を使った分母の有理化」「2次方程式のおもしろい解き方」「逆関数」「平均の速さ」「方べきの定理」などがある。(3年)</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</p> <p>○二次元コードから、教科書アドバイザー「マスマス」などを利用することができる。AIチャットで質問することができ、個別のつまずきにも柔軟に対応できる。</p>
教 出	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①知識及び技能の定着を図るための工夫</p> <p>・各学習のはじめに「Q 考えてみよう」などを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、考え方の手がかりを示している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫</p> <p>・導入場面で、小学校での三角形の内角と外角について学習したことを想起させ、1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める活動を設定している。(2年)</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</p> <p>・学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げている。社会や職業の中で、数学を活用している例を紹介した読み物を載せている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨発展的な学習に関する内容の記述</p> <p>・発展的内容は「乗法の公式を使った分母の有理化」「負の数の指数を使った累乗の表し方」「2次関数」「放物線と直線の交点」などがある。(3年)</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</p> <p>・二次元コードから、「操作」「動画」「統計ツール」「資料」のデジタルコンテンツを利用できる。思考の補助として活用することができる。</p>

	<p>る。</p>
啓林館	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②概念的な理解を促す工夫</b>  ○1年「比例・反比例」では、箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さが変わることにもなって、箱の底面の1辺の長さが変わることなどについて考えることを通して、関数の概念について分かりやすく理解する工夫がある。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫</b>  ・生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。データのばらつきや箱ひげ図、ヒストグラムなど複数の異なる図を比較して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年)</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</b>  ○話し合いの場面を設定し、他者の考えを尊重しながら自分の考えとの違いを明らかにし、どれが正しい考えなのかを判断する力や、自分の考えが正しいと考える根拠を説明する表現を鍛えながら、数学の概念の理解を深めていく工夫がなされている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧単元や資料等の配列</b>  ・「学びをふりかえろう」で、下学年で学んだ内容を復習する問題を掲載している。「学びをいかそう」で、日常生活や他教科の学習と関連した課題等の例を示している。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</b>  ○二次元コードから、「補充問題」「例・例題の解説動画」などのデジタルコンテンツを利用できる。例の解説動画を見て個別で学ぶことができ、「補充問題」が充実しているため、学び直しにも活用することができる。</p>
数 研	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②概念的な理解を促す工夫</b>  ・1年「比例・反比例」では、500円硬貨ばかり入れている貯金箱Aと、それ以外の硬貨を入れている貯金箱Bそれぞれについて、硬貨を何枚か取り出し、硬貨の枚数と重さの関係について考えることを通して、関数の概念を理解できるようにしている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫</b>  ・生徒が主体的に学習したことを活用して説明したり話し合ったりできる課題を取り上げている。箱ひげ図と折れ線グラフなど異なる図を比較</p>

	<p>して、その特徴を比較することで説明を行うことができるようにしている。(2年)</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥問題解決的な学習を実施するための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水を熱する実験で、熱し始めてから6分後の水温を予想する。二人の生徒と先生の会話によって、問題解決の過程を示している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨発展的な学習に関する内容の記述</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展的内容は「<math>\sqrt{2}</math>が無理数であることの証明」「放物線と直線の交点の座標」「三角形の重心と内心」「円に関するいろいろな性質」などがある。(3年)</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードから、「補充」「イメージ」「資料」などのデジタルコンテンツを利用できる。用語辞書や公式集を見ることができ、学び直しに活用することができる。</li> </ul>
日 文	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②概念的な理解を促す工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年「比例・反比例」では、歩数と道のりなど、1つの数量が決まるとそれにともなって、もう1つの数量が決まるものを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入場面で、三角形の内角の和を想起させ、もっと頂点の数が多い多角形の内角の和を考える。まず、陸さんが考えた四角形の和の求め方(三角形分割)で五角形の内角の和を求め、さらに六、七角形の内角の和を求める活動を設定している。(2年)</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥問題解決的な学習を実施するための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ大きさの冷蔵庫について調べた結果から、どちらの冷蔵庫に買いかえるのが得かを考える。「身近なことがら→数学の問題にしよう→見通しをもとう→考えよう→話し合おう→ふり返ろう→深めよう」という問題解決の過程を示している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨発展的な学習に関する内容の記述</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展的内容は「分母が多項式である有理化」「参加人数と試合数」「放物線と直線の交点」「関数<math>y = x^2</math>」などがある。(3年)</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</b></p>

	<p>・二次元コードから、「見る」「ためす」「身につける」「図形のまとめ」「調べる」「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。思考の補助として活用することができる。</p>
--	---

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	理 科
-----	-----

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <p>・観察・実験にあたっては、「観察の目的」、「観察の方法」では手順のまとまりごとに「ステップ」、「結果の見方」「考察のポイント」として探究の過程を示している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b></p> <p>・「構想」の中で、既習事項と関連させながら計画を立てる視点を示している。「分析解釈」の中で、結果からわかることを記載しており、さらに改善できる視点について示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫</b></p> <p>○日常生活や社会に広げて考えることができる「学びを生活や社会につなげよう」という内容を提示している。分野ごとに、理科に関連した事物・現象の読み物を豊富に提示しており、「科学が発展してきた歴史」等も紹介している。身の回りの事象から科学的発見が行われてきたことを知って興味・関心を高め、理科の有用性を感じさせる事に役立っている。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫</b></p> <p>・巻末資料では、理科の見方・考え方を広げるもの、学習に必要な知識・技能が確認できる。単元末の発展的探究課題では、学習内容の振り返りができる活動が仕込まれている。コラムでは、高校につながる発展的なものも多く、学習内容を実生活につなげる内容のものもある。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い</b></p> <p>○探究的な学習のサポートとして、様々なデジタルコンテンツを豊富に用意している。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広</p>

	<p>げたり、深めたりするものとなっている。教師にとっても、指導の助けとなっている。</p>
大日本	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験にあたっては、目的、着目点、必要なものを明記している。また、「基本操作」では、図・写真やイラストで手順や観察・実験で用いられる器具の基本操作（技能）を示している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「計画を立てよう」の中で、実験方法の計画の視点を記載している。分析解釈については、「結果の整理」の場面において例を記載しており、そこから考察できるようになっている。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年の巻末に「探究の進め方」として探究の過程を示している。「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」等のマークを表示することで、重点を置く探究の過程を示している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末資料では、基本操作を多く掲載しており、他教科とのつながりも掲載している。単元末の発展探究活動では、学習内容を振り返ることができる活動が仕組まれている。コラムでは高校につながる発展的なもの、学習内容を実生活につなげる内容のものが多い。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数は少ないが、学習したことを確実に定着させ、より深く理解するために役立つデジタルコンテンツが用意されている。</li> </ul>
学 図	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験にあたっては、「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」と表記している。実験や観察のページの上部に基本操作について参考にする補充資料の掲載ページを示している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仮説」「計画」の中で、計画する視点をイラストを交えて示してい</li> </ul>

	<p>る。「結果から考察する」の中で、実験結果を記載しており、そこから考察できることも書かれている。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「どうする、探究の進め方」として探究の過程を示している。また「なぜ理科を学ぶの？」として漫画で課題設定等の場面を例示している。各探究の場面で、「気づき」「課題」「仮説」「計画」等の探究の過程をページ端に示している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末資料では、基本操作や、思考をさらに深めるための内容を多く掲載している。コラムでは、学習の補助としての内容のものがほとんどである。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い</b></p> <p>○教科書の二次元コードから、ウェブ上で教科書を見ることができ、そこから動画コンテンツや、操作コンテンツを活用することができる。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりするものとなっている。教師にとっても、指導の助けとなっている。</p>
教 出	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験にあたっては、「目的」「準備」「方法」「結果」と項目で示され、観察・実験で使用する器具や装置の操作などは巻末資料の「基礎技能」として本文とは区別して示している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「計画を立てる」の中で、既習事項をもとに計画を立てる視点を示している。分析解釈については、「考察する」の場面で例を記載しており、そこから考察することができるように視点を示している。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑦科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻頭に「探究の進め方 さあ、探究を始めよう！」として探究の過程を示している。また、各単元内において「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」等のマークを表示することで、探究の過程を示している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨補充的な観察・実験及び発展的な学</b></p>

	<p><b>習等に関する内容の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末資料では、基本操作を多く記載しており、他教科とのつながりも掲載している。単元末の発展探究活動では、学習内容を発展させる内容のものを掲載している。コラムでは、学習内容を発展させる内容のものがほとんどである。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載している二次元コードからつながる「まなびリンク」のデジタル教材で学びをサポートしている。</li> </ul>
啓林館	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②観察、実験の技能を習得させるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験にあたっては、「目的」「方法」「結果」「考察」で探究の過程を示している。さらに「方法」では「ステップ」で詳しい手順を示している。基本的な実験操作や器具の使い方、表やグラフのかき方は、「観察・実験などの技能」を設け、解説している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「計画」の中で、既習事項と関連付けながら計画する視点を示している。また、巻末に探Qシートが単元ごとにある。分析解釈については、「考察」として示しており、考察の視点も示している。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫⑦科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫</b></p> <p>○分野ごとに、日常生活とのつながりを意識した科学コラムが充実しており、学校生活等とのつながりが実感できるような話題を提示している。「部活ラボ」「お料理ラボ」等がそれである。生徒の興味・関心を高め、理科の有用性を感じる事に役立っている。</p> <p>○各単元に「探Q実験」を設定し、探究活動のための「探Qシート」を設け、生徒が書き込むことで、「自身で仮説を立て、その仮説を元に、自らが実験計画を立てる活動」が行えるようにしている。この科学的探究の過程に沿った学習活動は生徒の「科学的に探究する力」の育成に寄与している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑨補充的な観察・実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末資料では、探究に関することを多く書いている。単元末の発展探究活動では、学習内容の振り返りができる活動が仕組みられている。対照</li> </ul>

実験を行い、根拠を持って考察を行うことができる。コラムでは、学習内容を実生活につなげていく内容のものを多く掲載している。

**(オ) 内容の表現・表記 ⑩写真、資料、デジタルコンテンツ等の取扱い**

○動画コンテンツだけでなく、振り返りシートや、動かせたり編集できたりする多様なコンテンツがある。生徒にとって、学習したことを定着させたり、学びを広げたり、深めたりするものとなっている。教師にとっても、指導の助けとなっている。

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	音 楽 (一 般)
-----	-----------

発行者	総合的な所見
教 出	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①表現、鑑賞領域の知識及び技能の習得を図るための工夫</p> <p>○歌うための姿勢や母音の発音についてイラストを使用して示しており、それらを意識しながら歌えるように参考楽曲を示している。また、年間を通して段階的に表現の工夫に繋がるよう示している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③音楽表現を創意工夫させるための工夫</p> <p>○曲を比較してそれぞれの曲の特徴を生かした表現の工夫を考えたり、旋律のまとまりを感じ取り、表現の仕方を考える「ACTIVE！」を掲載したりしている。音の重なり方等について調べ、曲の特徴を活かして、どのように表現の仕方を工夫するか、交流するためのワークシートが掲載し、また、キャラクターの吹き出しに具体的な工夫点を記載するなど、音楽表現の創意工夫につながる工夫がなされている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</p> <p>・「劇場・音楽堂へ行こう！」として音楽とのかかわり方を紹介する資料を掲載している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧教材の配列及び分量</p> <p>・全学年とも歌唱教材、鑑賞教材、創作の順に配列している。その後、「歌のアルバム」の合唱曲集、国歌「君が代」、楽典、資料の順に配列している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫</p> <p>・各学年の巻頭の「学習MAP」のページに、「学習の進め方 How to Study」というコーナーがあり、歌唱・鑑賞・創作の場面で、「音楽を形づくっている要素」を手がかりに学習を進め、よりよい表現を工夫するよう意識づけている。</p>

教 芸	<p> <b>(ア) 知識及び技能の習得 ②題材の学習目標等の示し方</b>          ・教材ページの端に縦書きで学習目標と音楽を形づくっている要素、教材名の下に活動文を示している。       </p> <p> <b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③音楽表現を創意工夫させるための工夫</b>          ○「学びのコンパス」で見方・考え方を働かせて深い学びを実現するための手立てを示している。旋律の特徴、強弱、終わりの音などを確かめ、表に整理し、曲の特徴や構成を話し合うなど、どのように歌いたいか考える活動を設定している。さらに、いろいろな表現を試す学習活動を示している。       </p> <p> <b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥音や音楽を生活や文化などと関連付ける工夫</b>          ○「生活や社会の中の音や音楽」で音や音楽と生活や文化の関わりについての資料を掲載し、身の回りの音や音楽の果たす役割を理解し、音楽への関心を高める工夫がある。       </p> <p> <b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧教材の配列及び分量</b>          ・第1学年では、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順に配列しており、創作については、関連する歌唱教材及び鑑賞教材のあとに配列している。第2・3学年は、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌「君が代」の順に配列している。       </p> <p> <b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</b>          ○各教材に二次元コードを掲載し、パート別の旋律、ピアノ伴奏が再生でき、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。また、内容や図等の補足説明を見ることやワークシートの活用ができる。       </p>
-----	---

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	音 楽（器楽合奏）
発行者	総合的な所見
教 出	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫</b> ○スモールステップで段階的に技能の習得ができるように掲載しており、色々なリズムをタンギングを使って演奏する際、使う音を3つの音に限定するなど、演奏に必要な基礎的技能の確実な習得に繋げる丁寧な記載になっている。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ④音楽的な見方・考え方を働かせる工夫</b> ○各楽器の 카테고리ごとに、音楽的な見方・考え方を働かせながら、各楽器の特徴についてワークシートを使って整理し、共通点や相違点について考え、話し合う活動を設定している。各楽器の鑑賞曲を聴き、楽器の音の出る仕組みや旋律の特徴を捉える学習の展開ができる。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</b> ・鑑賞や歌唱表現活動で取り上げる曲を、リコーダーでの表現活動にも取り組めるよう楽譜を掲載している。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑦我が国の音楽に関する内容の扱い</b> ・和楽器の基本的奏法に関する内容を分かりやすく表し、和楽器を用いた多様なアンサンブル曲を始め、多数の曲を掲載している。</p> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑨楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用</b> ・アルトリコーダーのそれぞれの練習曲に、新しく学習する運指を見開きページの左右の端に図で提示している。また、ソプラノリコーダーの運指も記載している。</p>
教 芸	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ②題材の学習目標等の示し方</b> ○ページの最上部に見開き2ページ分の活動内容を示している。また、教材曲の下に活動文を示している。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ③音楽表現を創意工夫させる</b></p>

### ための工夫

○箏の創作では、課題や条件にそって旋律をつくる活動がある。課題と条件を示し、箏のいろいろな奏法を試して、試行錯誤しながら学ぶことを設定し、旋律の反復や変化など一般の音楽の授業で習得したことを器楽においても活用して工夫することを想定している。伝統的な縦書きの譜面を多く掲載した上で、5線譜もあわせて記載するなど、我が国の音楽の伝統が伝わるよう工夫している。

#### (ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫

○ギターと関連付けて、ポップスのバンドスコアを掲載している。楽器への関心が高まり、タブ譜で演奏してみたいという意欲に繋がる。また、和楽器がジャンルを超えてコラボレーションしていることを掲載しており、生徒の多様な興味・関心に繋がる。

#### (エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦我が国の音楽に関する内容の扱い

・和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関係することだけでなく、各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げている。

#### (オ) 内容の表現・表記 ⑨楽譜、イラスト・写真、デジタルコンテンツの活用

・アルトリコーダーの練習曲の運指を見開き左右どちらかにまとめて図で提示している。

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	美術
-----	----

発行者	総合的な所見
開隆堂	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②形や色彩, 材料や用具の取扱等の定着を図るための工夫</p> <p>○各題材の学習に必要な知識や技能が「美術の用語」に、題材横断的な知識や技能が各巻の巻末に「学びの資料」として示している。このように系統的に整理された「学びの資料」によって各学習事項が有機的に結びついて活用できるようになり、わかりやすく解説している「美術の用語」が基礎基本の定着を助け、生徒にとってつまずくことなく学習に取り組めるものになっている。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫</p> <p>・掲載作品とあわせて「作者のことば」を数多く掲載することで、作品の表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○作品図版をできるだけ大きく掲載しており、表紙には思わず触りたくなるような加工が施され、興味・関心をもち、触って作品の質感を想像できるように工夫している。このように作品の美しさや楽しさが感覚的に伝わるような工夫によって、生徒の見方や感じ方を広げたり深めたりできるところがよいと考える。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦題材の配列</p> <p>・題材を分野ごとに分けて配列しており、内容をページの左上に色と文字で示している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</p> <p>・どのようなコンテンツが入っているのかを、「CONTENTS」として</p>

	各題材名の上部にまとめて示している。
光 村	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②形や色彩, 材料や用具の取扱等の定着を図るための工夫</p> <p>○3年間で必要な「描く」「つくる」「写真」「映像」「発想・構想」「形・色・光」「色」について別冊資料(二次元コードを含む)を用意しており、生徒が参照しながら主体的に制作を進められる工夫がある。このように別冊資料として3年間活用できるよう1冊にまとめられている点は教師にとって使い勝手のよいものとなっている。また、美術に苦手意識がある生徒も動画を視聴しながら無理なく取り組めるよう工夫されているところがよいと考える。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫</p> <p>・美術作品の鑑賞の場面における言語活動の示し方を国語科とつなげ、美術鑑賞を広げる言葉をわかりやすく示している。生徒が感じとったことや、発想や構想の工夫を生徒自身の言葉で示している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫 ⑥生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫</p> <p>○全ての題材に2次元コードを掲載しており、全国の生徒作品、解説動画、技法動画など、さまざまなコンテンツにアクセスでき、創作意欲を喚起するのに有効である。</p> <p>○全体を通して多様な日本美術を掲載しており、日本の絵画を和紙のような風合いのある用紙に掲載したり、「四季」「動物」「不思議」「余白」「構図」のキーワードを手掛かりに鑑賞できるようにしたりするなど、日本美術への理解が深まるような工夫をしている。このように日本の絵画がもつ自然観や美意識を感じ取れたり、より本物に近い感覚で鑑賞できたりするなど、生徒の興味・関心、主体的な学びを促すことのできるところがよいと考える。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦題材の配列</p> <p>・題材を分野ごとに分けて配列している。題材の内容をページの左上に色と文字で示している。別冊の資料(全36ページ)がある。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨デジタルコンテンツの活用</p> <p>○各題材において、題材名の横に二次元コードで、技法動画、全国の生</p>

	<p>徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示している。特に「体感ミュージアム」では、鑑賞作品に書き込みや、360度回して鑑賞できるようになっている。</p> <p>教科書の裏表紙に学校生活や社会生活に役立つ資料を二次元コードで示している。このようにデジタル社会にマッチした、生徒の見方を深めることのできる多様な新しい鑑賞の仕方を工夫しているところがよいと考える。別冊資料は、3年間に渡って活用できるもので、教師にとって指導しやすく、生徒にとって基礎基本の定着と創作での活動に有効なものになっている。</p>
日 文	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材に〔共通事項〕（知識）への意識を促す「造形的な視点」を設定している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④表現及び鑑賞活動における言語活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考のプロセスが見える「アイデアスケッチ」や「表現のヒント」、生徒作品の理解を深める「作者の言葉」を掲載している。友だちと対話しながら鑑賞する情景写真を掲載し、言語活動を促している。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤興味・関心を高めるための工夫</b></p> <p>○二次元コードから見られる二分程度の題材導入動画の中で、主題を生成する投げかけや、何を学ぶのかを提示しており、生徒が自分ごとに置き換えて主体的に捉え、対話を増やして学べる工夫がある。このような題材導入動画は、教師にとっても授業準備の負担を軽減するとともに、指導内容はより明確になり、どのような教師にも活用しやすいコンテンツになっているところがよいと考える。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦題材の配列</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を分野ごとに分けて配列しており、内容をページの左上に色と文字で示している。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑧作品等についての示し方の工夫</b></p> <p>○表紙掲載の作品の一部を原寸大で掲載するなど大きく示し、細かい部分の表現まで見てとることができたり、屏風作品を実際に折って実感的に鑑賞できたりする工夫があり、鑑賞の視点を広げている。このように</p>

	本物に近い形で見ることによって鑑賞の視点を広げ、作者の意図や工夫も感覚的に理解しやすくなり、学びを深められるところがよいと考える。
--	---

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	保健体育
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②知識及び技能の習得</b> ○「巻末スキルブック」を設け、保健体育で学んだことを日常生活や身の回りの健康や安全に関する課題で活用できるよう工夫されている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</b> ○「広げる」として学習した知識をもとに、日常生活との関連性に気付かせたり、さらに調べたりする活動を設定している。「活用する」では、思考力、判断力、表現力を効果的に働かせることができるように、シミュレーションや思考ツールに関するデジタルコンテンツを提示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤自己の課題を見つけ、その解決に向けた学習活動の工夫</b> ○見開き2ページを1時間の授業構成とし、ページのはじめに日常経験や資料、小学校で学習したことをもとに、学習課題にせまる「見つける」を設定しており、この「見つける」をもとに「学習課題」を示して、課題の解決に向けて授業が展開できるよう工夫している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の工夫</b> ・すべての単元において発展的な内容の資料を掲載している。例えば「章末資料（P50）」に「胎児を育てる母体の神秘－胎盤とへその緒－」という資料を掲載している。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩デジタル教材の活用</b> ・二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。</p>
大日本	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②知識及び技能の習得を図る工夫</b> ・1見開き1時間構成とし、最後に学習内容を振り返るためのキーワードを示すとともに、自分の生活に当てはめられるような課題を示している</p>

	<p>る。各章末に、学習のポイントとなる重要な言葉をまとめて示し、ウェブサイトにもとめの問題を収録している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小単元において「活用して深めよう」として、学習した知識をもとにさらに深く考えるような、思考力を高める設定をしている。さらに、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で、協働的な活動を促すことで、思考力、判断力、表現力等が育成される問いを設定している。</li> </ul> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥興味・関心を高めるための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を紹介している。また、各章の終わりに、学習内容に関連が深い「章末資料」を示している。例えば、P 26に「身体活動」「10分あたりに消費されるエネルギー」「主な食品のエネルギー」「睡眠と情報機器との関係」について掲載している。</li> </ul> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての単元において発展的な内容の資料を掲載している。例えば「トピックス (P 44)」にアンガーマネジメントについて掲載している。</li> </ul> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩デジタル教材の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードから、デジタルコンテンツ (動画) を掲載したページにアクセスすることができる。</li> </ul>
<p>大修館</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①単元の目標の示し方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章扉に、単元を貫く問いを示すとともに、その単元を学ぶ理由や学習内容が日常生活とどのようにつながるのかを示している。1見開き1時間構成とし、始めに導入の問いを設け、その後に学習課題を示している。</li> </ul> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「章のまとめ」として学んだことを活用し、改善策や解決策を考え、導き出す問いを設定している。「学習のまとめ」では多様な表現活動を提示し、学習課題につながる気付きや思考を促し、自らの思考の過程等を客観的に捉えたり、集団としての考えを形成したりするなど、思考力、判断力、表現力等を育成できる問いを設定している。</li> </ul>

	<p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥興味・関心を高めるための工夫 ○「章のまとめ」では「主体的に学習に取り組む態度」により、学習活動を振り返って自己評価し、そこで喚起された興味や関心を意識させ、自分の課題を見つけ、さらなる学びへの意欲を促す工夫をしている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の工夫 ・すべての単元において発展的な内容の資料を掲載している。例えば「特集資料（P75）」に女性のスポーツ選手がおちいりやすい3つの健康問題について掲載している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩デジタル教材の活用 ・二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。</p>
学 研	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②知識及び技能の習得を図る工夫 ・1見開き1時間構成とし、始めに「キーワード」として学習項目の基本用語を明示し、最後に学習内容をもとに取り組む課題を設けている。また、生徒が自分の取組を自己評価するグラフを示している。各章末に、学習内容のキーワードを示すとともに、生徒が自分の取組を自己評価する欄を設け、十分な理解ができていない場合は該当ページに戻るなど、学び直しができるよう工夫している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④個人生活における健康安全について、自分の考えを言葉や分掌及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動の工夫 ○「学びを生かす」として習得した知識を活用し、グループでの協働活動をもつことで、思考を深める場面を設定している。また、章末に設定した研究課題（「探究しようよ！」）で、課題の例や学習の仕方を示すことによって、課題解決的な学習を展開するように設定している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥興味・関心を高めるための工夫 ・学習に関連した「コラム」を紹介している。また、各章の終わりに、学習内容に関連が深い「探究しようよ！」を示している。例えば、P38・39に「アレルギー」「脳死と臓器移植」「睡眠を見直そう」「中学校生活と食事」について掲載している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の工夫 ・すべての単元において発展的な内容の資料を掲載している。例えば「探究しようよ！（P131）」に急な大雨や雷・竜巻から身を守るための方法について掲載している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨イラスト・写真等の活用 ○どの学習項目も、見開き2ページの流れが、課題発見の「ウォームア</p>

	<p>ップ」、課題解決のための「エクササイズ」、学んだことを基にして実践的な課題に取り組む「学びを生かす」の基本構成となっており、マークの色を統一し、発問を明示するなど、学習活動に集中力を切らさずに継続して参加できる工夫をしている。</p>
--	--

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	技術・家庭（技術分野）
-----	-------------

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ②技術の概念の理解を促すための工夫</b>  ○内容A～Cの第3章及び内容Dの4章の最初の項に「情報の技術の最適化」という項目があり、また、その項の冒頭では、生徒のつぶやきを吹き出しで記載している。このことにより、これまでの学習を振り返らせ、自分の問題解決と社会における問題解決について考えることができる。</p> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ③「技術の見方・考え方」を意識させるための工夫</b>  ○技術分野のガイダンス「技術の見方・考え方」の中に、「技術の最適化」について1ページ分の漫画を掲載している。このことにより製品が、社会からの要求・安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ、最適化されていることについて理解しやすくなっている。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑥学習過程の工夫</b>  ・「未来の technology」において、これまでの学習を踏まえ、「技術の評価、選択、管理・運用（技術ガバナンス）」「未来に向けた技術の改良、応用（技術イノベーション）」について考えるためのワークシートがある。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑧実践的・体験的な学習を実施するための工夫</b>  ・各内容と問題発見のためのテーマを挙げ、製作例などで解決への手順を示すとともに、「もっと問題解決」でさらに問題解決例を挙げている。</p> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑩デジタルコンテンツの活用</b>  ○「デジタルコンテンツを活用しよう」のページがあり、デジタルコンテンツの一覧表示用の二次元コードを示しているとともに、全てのページに「Dマーク」と二次元コードを示している。7種類のデジタルコンテンツを用意しており、「動画」や「図鑑」は道具の使い方を知りたい</p>

	<p>時、「思考ツール」や「ワークシート」は考えを整理したい時、「シミュレーション」は電気の流れや機械の動きについて理解したい時に主体的に活用できる。このように、豊富でさまざまな種類のコンテンツを取り揃えていることにより、その日の授業の用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習を実現させることができる。</p>
<p>教 図</p>	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②技術の概念の理解を促すための工夫</b>  ○内容A～Cの第3章及び内容C第4章は、「社会の発展と〇〇の技術」という標題になっており、その冒頭を「技術のプラス面とマイナス面」という統一した見出しで始め、生徒のつぶやきを記載している。このことにより、世の中の技術の役割や技術が与える影響、社会におけるプラス面とマイナス面を考えることができる。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④技術による問題の解決を行うための工夫</b>  ・各内容の第1章の末において、技術にこめられた工夫について調べる項目があり、具体的な例を挙げている。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥学習過程の工夫</b>  ○「やってみよう」のページに、ここまで学んできた内容について整理し、もう一度考えるワークシートを掲載している。「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を組み合わせで開発された、新たな技術等具体例を挙げて掲載している。「将来のあなたへ」では、技術関係へ進学した先輩からのメッセージや「日本の技術を支える人々の想い」として、さまざまな分野の日本の技術とそれを支える人々について掲載している。このことにより、これまでの学習を踏まえ、技術の上手な活用法や新しく開発したい技術、これから技術とどのように向き合っていくものかを考えさせることができる。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧実践的・体験的な学習を実施するための工夫</b>  ○各内容での用具の使用法や作業方法について「スキルアシスト」という別冊がある。各内容とも「実習（や見学）の安全な進め方を知ろう」で安全についての記述があるとともに、「プチ問題解決にチャレンジ！」で簡単にできる問題解決の例を挙げ、さらに「身近な問題を解決してみよう」で問題解決の具体的な方法について、実習例を示している。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑨各教科等と関連させて学習を進める工夫</b>  ・SDGsに關係する内容には、関連する持続可能な開発目標のマーク</p>

	を示している。
開隆堂	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②技術の概念の理解を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容A～Dの3で各内容における学習を振り返ったり、技術と社会とのつながりを考えたりするための記述や図等を掲載している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④技術による問題の解決を行うための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容の第1章の末において、「技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こう」という学習課題があり、具体的な例を挙げている。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥学習過程の工夫</p> <p>○「命を守る防災、医療・介護の技術」「技術による問題の解決を考えよう」において、気象衛星ひまわり9号が災害規模の予測や対策に役立っている事実が記述され、「技術による問題の解決を考えよう」の欄で、社会が抱える問題とそれを解決しようとする新しい技術の具体例等を記述している。このことにより、いま社会の中で使われている技術、また社会が抱える問題とそれを解決しようとする新しい技術があるということに気付くことができる。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧実践的・体験的な学習を実施するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容とも実習例を挙げ、その実習例でも「問題の発見、課題の設定→構想・設計・製作(制作)→評価・改善」といった問題解決の進め方を記述しているとともに、実習例によって個別に必要な手順が具体的に写真等を示している。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨各教科等と関連させて学習を進める工夫</p> <p>○各内容のはじめに「小学校や他教科とのつながり」として、関連する学習内容が示している。また、他教科や小学校での学習とのかかわりがあるところに「他教科」「小学校」マークを示し、ほかの学習項目や家庭分野とのかかわりがあるところをマークで示している。このことにより、「小学校」「他教科」等いろいろな分野と関連をもたせながら学習を進めることができるため、振り返って違う角度から物を見たりすることができ、学習をより深めることができる。</p>

## 種目ごとの審議結果

### 【 総合所見欄について 】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	技術・家庭（家庭分野）
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>（ア）知識及び技能の習得 ①基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「実習を楽しく安全に進めよう」を巻頭に掲載し、食物アレルギーや感染症予防にも気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントをまとめている。</li> </ul> <p><b>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 ④課題を実践し、評価・改善し表現するための工夫</b></p> <p>○「生活の課題と実践の進め方」を掲載し「1 課題を決めよう 2 計画を立てよう 3 家庭や地域で実践しよう 4 評価しよう 5 改善しよう 6 次の課題に挑戦しよう」というように課題解決の流れを示している。このことにより課題の活動を実践し、振り返りで評価改善し、言語表現することで科学的理解を定着・深化するという学習の流れを生徒に意識付け、ゴールを見据えた学習を実現することができる。</p> <p><b>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 ⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫</b></p> <p>○「生活に生かそう」が学習のまとめの中にある。このことにより、授業で学習したことをもとに、自分の生活を見直し、自分の家庭生活をよりよくする方法を記述できるため、家庭分野の見方・考え方である「生活に始まって生活に返す」ことをしっかりと示し、生活の課題を実践につなげることができるようになる。</p> <p><b>（エ）内容の構成・配列・分量 ⑦発展的な学習の扱い方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に生かそう」が題材ごとにあり、生徒が実践しやすい、具体的な内容を豊富に示している。</li> </ul> <p><b>（オ）内容の表現・表記 ⑩デジタルコンテンツの活用</b></p> <p>○授業で使用できるワークシートや思考ツール、基礎機能や幼児に関わる動画など、豊富でさまざまな8種類のコンテンツを取り揃えている。このことにより、料理を指定するだけで食品群別摂取量を自動で計算・</p>

	<p>グラフ化するなど、用途に適したコンテンツを多くの選択肢の中から選ぶことができ、的を絞った学習が実現できる。</p>
<p>教 図</p>	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫  ○「実習は安全に取り組もう！」を巻頭に掲載している。このことにより、けがや衛生面に気をつけるという基礎的基本的な知識及び技能の習得を強く印象付け、実践につなげることができる。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③生活の中から課題を見いだすための工夫  ・節の導入には自分の生活を見つめるきっかけとなるコーナーを設定している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫  ○「ガイダンス「つなぐ・つながる」×家庭分野」において、生活の営みに係る見方・考え方を「つながり」というキーワードを用いて説明している。このことにより、人と人、私たちと生活、伝統、生活と環境（SDGs）などを意識した上で、家庭科を学び始めることができる。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧他教科等と関連させて学習を進めるための工夫  ・中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「関連マーク」を示し、教科名、分野、単元・題材概要を示している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫  ・中学校以降で学習する漢字には、見開きの初出で振り仮名を付している。</p>
<p>開隆堂</p>	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②実践的、体験的な学習を実施するための工夫  ・日常食の調理における調理実習例や、衣食住の生活における布を用いた物の製作例がある。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④課題を実践し、評価・改善し表現するための工夫  ・「生活の課題と実践の進め方」を「1生活を見つめ、課題発見・課題設定2計画3実行・実践4まとめ・発表5ふり返り・評価6生活にいかす・次の課題へ」のように掲載し、学習の流れを示している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫</p>

○「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」という生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動を設定している。このことにより、学習した内容を家庭や地域で実践することにつながるができる。

**(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧他教科等と関連させて学習を進めるための工夫**

○中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「他教科・他分野との関連マーク」を右ページ上部に示し、教科、分野、単元、題材概要を示している。このことにより、教科横断的な学習につながるやすくなっている。

**(オ) 内容の表現・表記 ⑩デジタルコンテンツの活用**

・学びを広げ、深めるための資料コンテンツと、基礎技能、調理・製作実習の手順などを示す動画コンテンツを豊富に掲載している。



	<p>Write」の活動がある。「Part 1 Part 2 (Listen &amp; Read)」では、基礎・基本的な内容を学習する構成となっている。単元の終末では、Retelling 活動や目的・場面・状況を意識し、既習事項を活用して活動する言語活動を設定している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <p>○「Program」の最後にリテリングして話す活動、「Review &amp; Retell」では単元の内容を振り返り自分の言葉で伝える活動、「Action」では「読む」「書く」「話す」活動を通して自分の考えを他者と交流する活動、「Power-Up」ではインタビューを「聞く」活動からインタビュアーになって相手にたずねる「話す」活動、場面を設定し相手意識をもたせて英語で表現する活動等、4領域を統合した活動になるよう工夫している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤単元に対する興味・関心を高めるための工夫</p> <p>○新出表現の導入をマンガ形式で掲示しており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われるのかを視覚的に容易に理解できる。二次元コードを読み取ると、教科書同様の漫画がスライドで表示され、英語音声とともに英語表示の有無を選択でき、自主学習に有効活用できる。新出文法が、どのような目的・場面・状況で活用できるのか、会話の中で視覚的に音声とともに理解することができる。各単元の「Part」に入る前の「Tuning in」では、本文のテーマについて話し合う活動や会話を聞き内容を確認する活動を設定している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元の構成・配列の工夫</p> <p>○「Scenes」で「聞く」「やり取り」「書く」活動をする。単元末にActionで「やり取り」の活動がある。ステージ末に「Our Project」(統合問題)がある。「Part 1」から「Part 3」では、新出文法が1ページずつ学習できるようになっており、授業者にとって扱いやすい。本文理解と言語活動を同じページで扱っていない仕様も評価できる。導入に本文を「聞く」活動を設定している点も評価できる。モデルを例示し、マッピングやメモなどを活用しながら、自分の考えをスモールステップで英文で作成することができるように構成している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻末資料、付録等の工夫</p> <p>・二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や語句の音声、題材導入動画や文法解説アニメーション、発表モデルや単語アプリなど、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「Word Web」と「巻末資料」を掲載している。</p>
三省堂	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫</p>

	<p>・各 Part に、文法事項等を領域ごとに活用して身に付ける言語活動として「Exercise」を設定している。各単元の終末に、「Goal Activity」として「Read」、「Write」等の活動がある。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③単元における言語活動の工夫</p> <p>・各 Lesson の「Part 3」の「Small Talk Plus」では、本文の内容と関連する話題で会話をする活動がある。「Tips」では会話を広げるヒントを、例文を交えて紹介している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥単元等における振り返りの工夫 ○各単元の冒頭に「Goal Activity」を提示しており、単元末にどんな英文を読むのが明確である。「Take Action」では、それまでの学習内容を活用して「話す」「聞く」といった言語活動ができるようになっている。「Small Talk Plus」では、本文の内容と関連する話題で「話す」活動を設定している。「Tips」で会話を広げるヒントを、例文を交えて紹介している。3 単元ごとに「Project」があり、既習事項を振り返り、表現できるようになっている。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元の構成・配列の工夫</p> <p>・各冒頭に、「Lesson Preview」として聞く活動がある。単元末に、「Goal Activity」として「発表」「やり取り」「書く」活動がある。「Take Action」で各言語活動を設定している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻末資料、付録等の工夫</p> <p>・二次元コードを設置し、学習に役立つ資料動画や本文アニメーション、文法の解説動画や発音チェックなど、多岐にわたるコンテンツがある。巻末にある「資料」では、まとまった英文（Further Listening）、復習用のリスニング原稿（Audio Scripts）、語彙等を掲載している。</p>
教 出	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫</p> <p>・「Lesson」では、「Part 1～Part 3」、「Tool Kit」、「Let's Listen」、「Think &amp; Try!」を設定して各領域を扱っている。単元終末にある「Task」では、「Grammar」の解説、「Tip for Speaking」、「Reading」、「Listening」、「Writing」があり、それぞれの領域を扱っている。学期に1回の割合で「Project」と題して既習事項のパフォーマンス課題を設定している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③単元における言語活動の工夫</p> <p>・「Lesson」の各 Part の「Think &amp; Try!」では、本文の内容について自分の考えや気持ちなどを入れてやり取りができる活動がある。単元末の「Task」では、設定された場面の中で既習の文法事項を用いて相手に質問したり、自分のことを伝えたりする活動を行うことができる。</p>

	<p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤単元に対する興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の冒頭に、その単元に関する話題についての質問を聞いて話す活動につなげる英文がある。「Goal」として単元の目標を内容理解と活動の2項目で示している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元冒頭に、単元の「Goal」に関連した「Listening」がある。「Part 1～3」での活動の後、「Task」として「読む」、「話す(発表、やり取り)」や「書く」活動がある。さらに、単元の最後に「Activity Plus」や「Tips」があり、発展的な「Speaking」や「Reading」活動を設定している。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻末資料、付録等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを設置し、「まなびリンク」にアクセスできる機能や英文・語句の音声、学習シートややり取り見本動画、録音・再生機能など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「巻末資料」と「付録」を掲載している。</li> </ul>
光 村	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ②基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元で見開き1ページの中で各活動ができるように設定している。(Listen &amp; Read → Listen → Speak → Write) 各Partが終わった後に、既習事項を活用して単元の目標を達成できたか図る、「Goal」のページがある。学期に1回の割合で既習事項の総復習を行っている。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末に「You Can Do It」という単元があり「読む」から「書く」につなげる活動や、「聞く・見る」から「話す(メモや箇条書き程度の文を見て)」につながる活動がある。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤単元に対する興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元のとびらの中で、その単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況を登場人物がイラストと台詞で示しており、聞く活動でその単元のおおまかな内容を考えることができる。また、「About You」として本文に関する質問について話す活動がある。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元冒頭に本文内容に関わったやり取りをする活動を設定している。「Part 1～3」の後、Goalとして、話す活動や書く活動がある。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻末資料、付録等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを設置し、学習に役立つ音声、動画、理解度を確かめるピクチャーカード、即興的に話す活動を支える動画、発展的なリーディ</li> </ul>

	<p>ング教材など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「帯活動」と「巻末付録」を掲載している。</p>
啓林館	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①単元の目標の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Project」や「Let's シリーズ」の紙面上に目標を提示している。单元ごとに「Goal」を「Input」と「Output」の2本柱で示している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・单元末に「Think &amp; Write」や「Think and Speak」という「聞く」から「書く」、「書く」から「話す」につなげる領域を統合した活動がある。「Project」では「読んで書く」、「聞く・読む」から「書く」につながり、最後は「話す（発表）」につながる活動がある。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤单元に対する興味・関心を高めるための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の冒頭で目的・場面・状況を見ながら聞く活動を行うことができる。即興的なやり取りの活動として、「Unit」の各 Part に「Enjoy Chatting」を設定している。「Chatting」では、「Part」の本文内容に関連する問いを1問提示している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦単元の構成・配列の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・单元冒頭に聞く活動がある。单元の後半には「Read and Think」として「Reading 活動」、「Think and Speak」では、「Speaking 活動」がある。「Project 1～3」には統合した活動が設定してある。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻末資料、付録等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードを設置し、学習に役立つ本文や新出語句、リスニング音声や本文アニメーション映像、文法解説動画など、多岐にわたるコンテンツを用意している。巻末に「巻末付録」と「付録」を掲載している。</li> </ul>

## 種目ごとの審議結果

### 【総合所見欄について】

調査・研究の結果、採択基本方針に示されている採択基準に基づいて、各教科用図書の特徴を発行者順に示している。採択基準の5つの観点の順に、優れていると考えられる点については「○」、課題があると考えられる点については「●」、どちらでもない場合は「・」で示している。

種目名	特別の教科 道徳
発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ②発問の工夫</b>            ・教材文の終わりに「考えよう」「みつめよう」のコーナーを設け、マークとともに発問を記載している。また、「ぐっと深める」の発問により、さらに思考を深めるための発問も記載している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③考えを伝え合う活動の工夫</b>            ・巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、話し合う学習活動、話合いのポイントを示すとともに、教材文の終わりの「Plus」に、直前の教材に関する話合いの具体的な流れを示している。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤問題解決的な学習を取り入れた工夫</b>            ○「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに探究の対話「p4c」や「対話の流れ」等、多様な問題解決学習の手法を設定しており、生徒が考えを深め、それを安心して交流できる工夫がある。生徒の心に響く副題がある。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</b>            ○付録に「SDGs」と関連する教材があるとともに、いじめの問題をテーマとした、3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けており、生徒にとって問題を掘り下げて考えられるものになっている。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩教材の内容を理解させる工夫</b>            ○「朗読音声」「ワークシート」「Web サイト」「資料」「VR 映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」などを二次元コードとともに示しており、多種多様な情報を活用したり体験したりすることができ、生徒に興味関心をもたせることができる。</p>
教 出	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方</b>            ・「さあ、道徳を始めよう！『どうやって学ぶの？』」のページに、</p>

	<p>「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」という学習の流れをイラストや吹き出しとともに示している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③考えを伝え合う活動の工夫 ・巻頭「さあ、道徳を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話合いのポイントを示したり、教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、教材における話合いを促したりする発問を示している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑤問題解決的な学習を取り入れた工夫 ・教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、問題解決的な学習過程の例を示している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方 ・「いじめをなくそう」、「つながり合って生きる」、「いのちをかがやかせる」をユニットとして掲載している。また、いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくそう」を設けている。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻頭、巻末等の取扱いの工夫 ・各学年の目次には、4つの視点で分けた教材番号と学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に出てくるマーク」等を示している。また、切り取り式で学びの振り返りの記述欄を各学期分、1年間の振り返りを1回分設けている。</p>
光 村	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方 ・「本書で学ぶ皆さんへ」に、手引きを「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③考えを伝え合う活動の工夫 ・第1教材「道徳の学習を始めよう」の中に、話し合う学習活動、話合いのポイントを示したり、教材文の終わりに、教材における話合いを促したりする発問を示している。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥体験的な学習を取り入れた工夫 ・「チャレンジ」を設け、目次及び該当ページにマークを付け、教材の終わりにテーマに迫る学習過程の例を示している。</p> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方 ・「「いじめ」を許さない心について考える」、「「情報モラル」について考える」をユニット化して、目次に示している。</p> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩教材の内容を理解させる工夫</p>

	<p>・「やってみよう」「チャレンジ」「まなびをプラス」「コラム」「まなびの準備」のマークを設定している。また、二次元コードにより「朗読」「資料」「動画」等のデジタルコンテンツを示している。</p>
日 文	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方</b>  ○見開き2ページに、主題や教材、発問と学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つでイラストや吹き出し等とともに示している。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</b>  ○別冊「道徳ノート」は、学級や生徒の実態を踏まえて、自由に記入欄を活用できるものとなっている。自分の考えや友達の意見等を書くこともでき、思考・判断・表現を行う上で活用できる。巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」が学期ごとに設けられており、印象的だった授業や自己の成長の経過を記録し、ポートフォリオ評価として活かすことができる。</p> <p><b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥体験的な学習を取り入れた工夫</b>  ・「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示している。</p> <p><b>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</b>  ・いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設けるとともに「いじめと向き合う」マークを使い、目次に色付けして複数示している。</p> <p><b>(オ) 内容の表現・表記 ⑩教材の内容を理解させる工夫</b>  ・目次、該当ページに「あすへのメッセージ」「視野を広げて」のマークを設定し、コラムのページとして示している。また、教材名の下や別冊「道徳ノート」に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している等、生徒の興味関心を高める工夫がみられる。</p>
学 研	<p><b>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方</b>  ・「さまざまなテーマで学ぼう」のページに、テーマをイラストや写真とともに示し、今気になっていること、夢中になっていることを書き込める枠を設けている。</p> <p><b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ④考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫</b>  ・教材文の下に、学びの途中で気付いたことや思ったこと等について書</p>

	<p>く欄を設けている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「深めよう」の、学習過程の終末に、「生き方につなげよう」の表記があり、自己を見つめられるような工夫がある。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な世界のために」「色とりどりに輝く」「未来に向かって」をユニット化し、いじめ問題をテーマとした教材も年間を通して配している。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次、教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示したりして学びを促進する工夫がある。</li> </ul>
あか図	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をマークとともに示し、10個のテーマを教材名等とともに示している。</li> </ul> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」の中に、話し合う学習活動、話合いのポイントを示し、教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」等に、教材における話合いを促す発問を示している。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、体験的な学習に関連する学習過程の例を示している。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑦分量や教材の数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年とも35教材あり、「いじめ」を考える」「共に生きる社会」「国際理解」「キャリア」「伝統・文化」「情報モラル」「生命の大切さ」「安全・防災」「自然・環境」「スポーツ」の10テーマを設定し、多面的・多角的に学べるようになっている。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑩教材の内容を理解させる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。</li> </ul>
日科	<p>(ア) 知識及び技能の習得 ①道徳科の学び方等の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページに、テーマを8個、教材名とともに示している。「クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう」を授業始めに設定し、道徳を学習するガイダンスを行うようにしている。</li> </ul>

	<p>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成 ③考えを伝え合う活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のテーマに沿った巻末の「ウェルビーイングカード」を使い、自分がいきいきと過ごすには何が必要かを考え、対話を深めるように工夫している。</li> </ul> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫 ⑥体験的な学習を取り入れた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に自分自身が思いついた「ウェルビーイングカード」のキーワードを書くカード1枚を設けている。</li> </ul> <p>(エ) 内容の構成・配列・分量 ⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「さまざまなテーマから考えを深めよう」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。</li> </ul> <p>(オ) 内容の表現・表記 ⑨巻頭、巻末等の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマーク、「この教科書にあるマーク」等を示している。各学年「わたしたちの郷土」を3ページで示している。</li> </ul>
--	--